

第 6 次川島町総合振興計画のための 町民アンケート調査結果

2026年8月

川島町

目 次

I. 調査概要.....	1
II. 調査結果.....	2
1. 調査対象者.....	2
2. アンケート結果	6
III. まとめ.....	34
1. 「まもる」	35
2. 「つなぐ」	35
3. 「つくる」	36
4. 「そだてる」	36

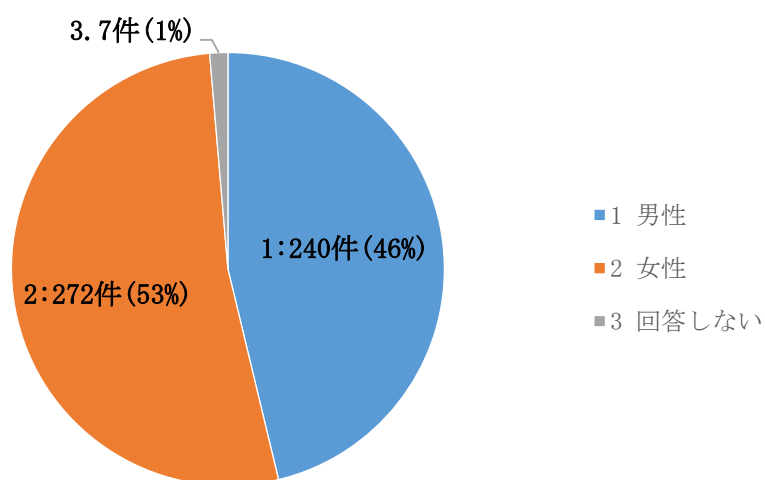
I. 調査概要

- ①調査実施期間：2026 年 6 月 8 日～2026 年 6 月 26 日
- ②調査方法：郵送にて配布・回収または Web 上での回答
- ③調査対象：18 歳以上の町民から無作為に 2,000 人を抽出
- ④回収状況
 - 有効回収数：519 票
 - （前回：442 票）
 - 有効回収率：26.0%（前回：22.1%）

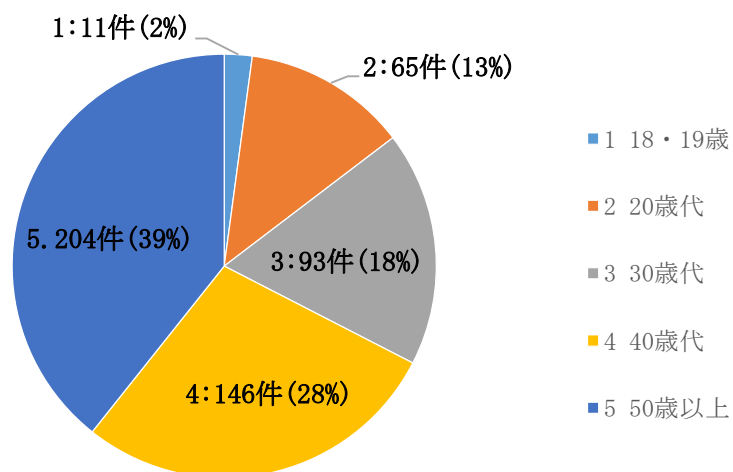
Ⅱ. 調査結果

1. 調査対象者

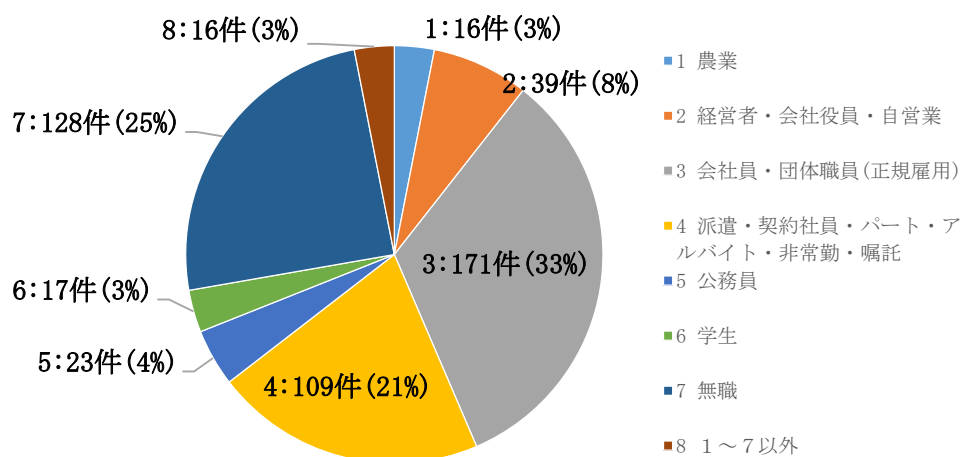
(1) 性別



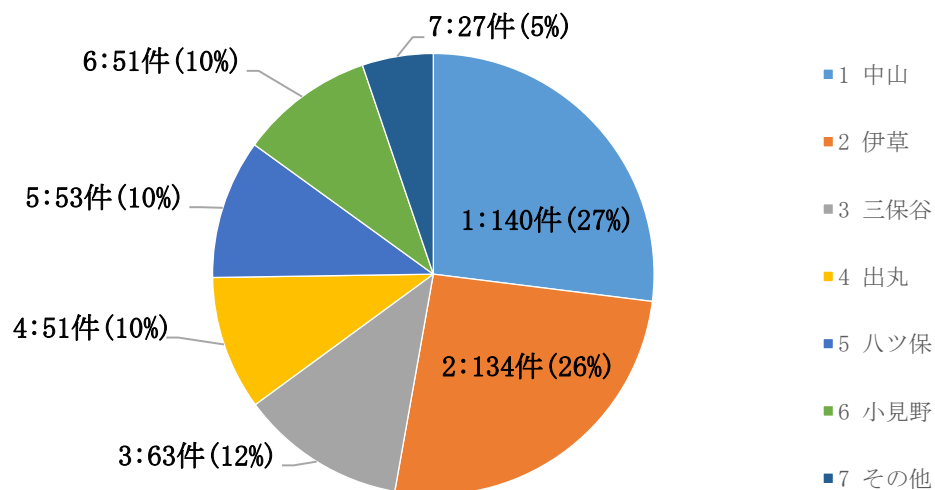
(2) 年齢(2026年5月1日現在)



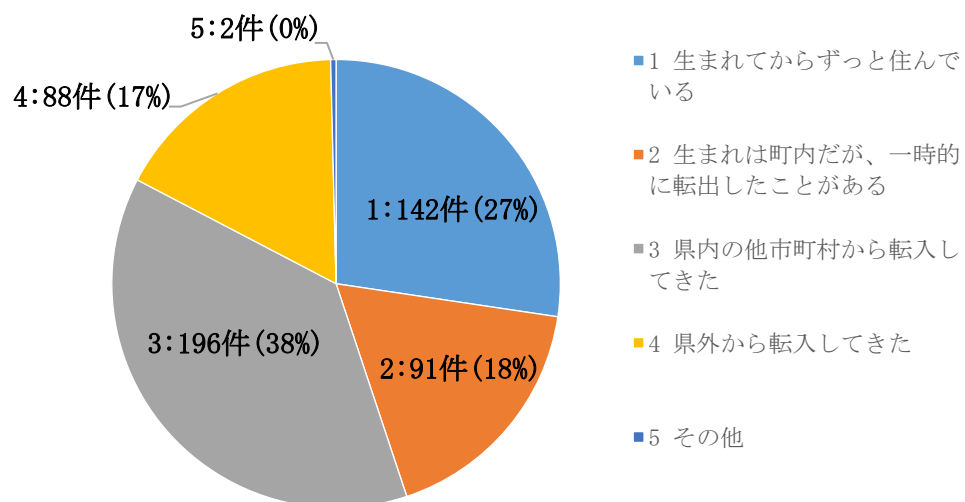
(3) 職業



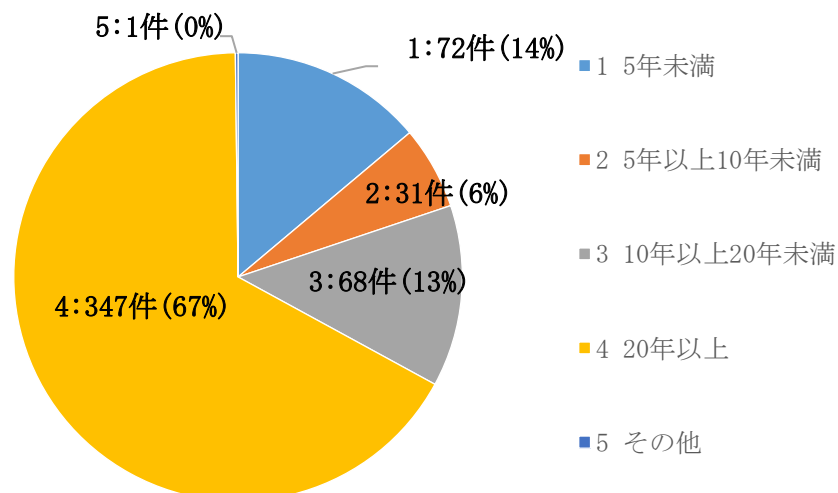
(4) 居住地区



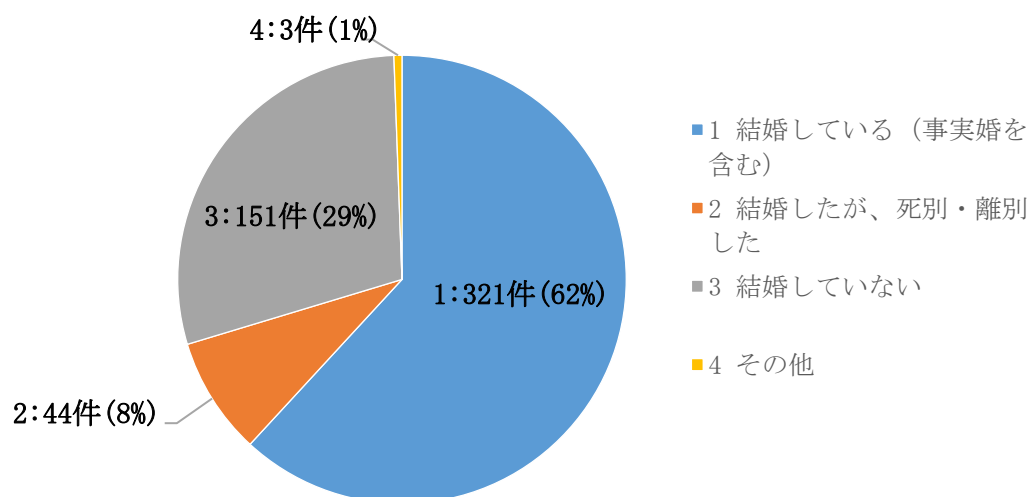
(5) 居住歴



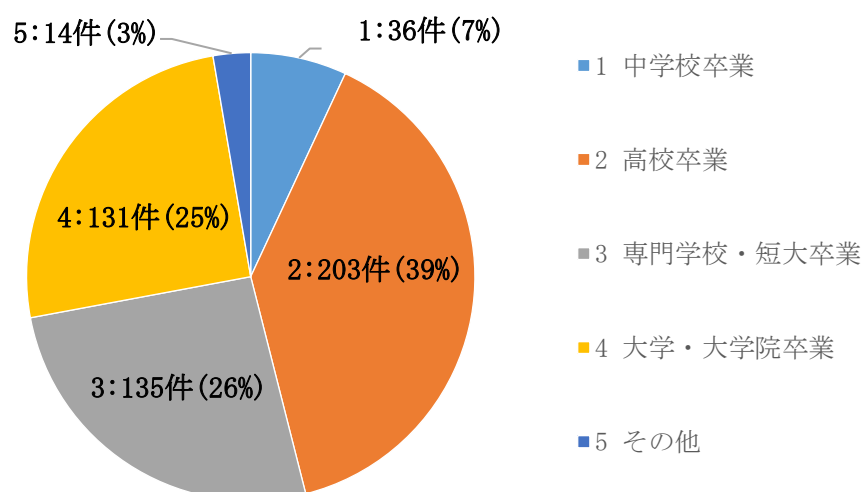
(6) 居住年数（合計）



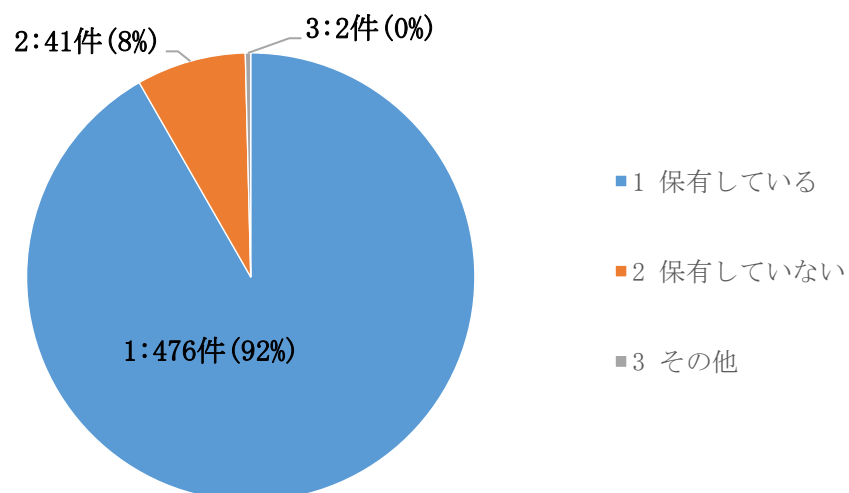
(7) 結婚



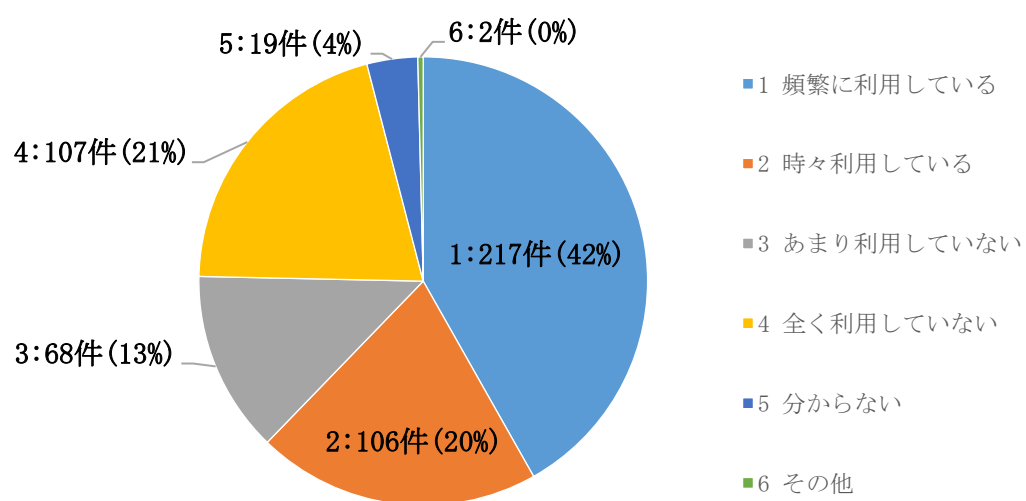
(8) 最終学歴



(9) スマートフォンの保有率



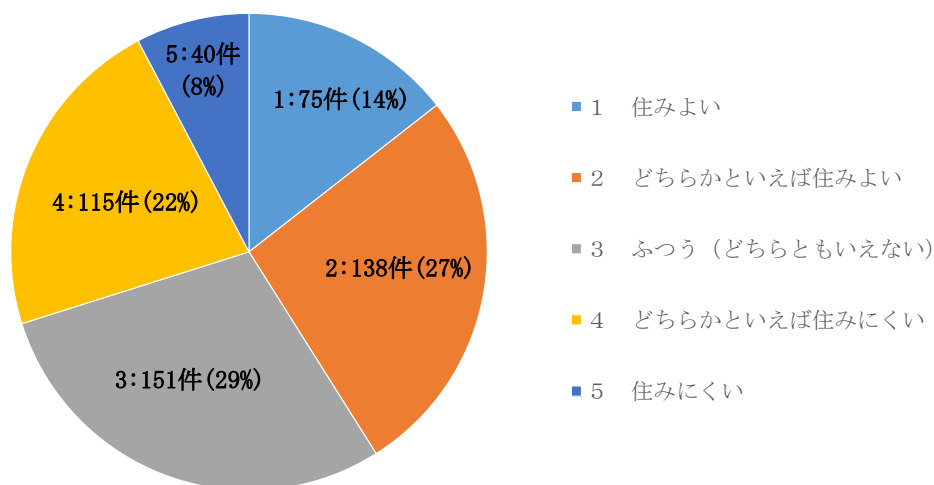
(10) QRコード決済の日常的利用



2. アンケート結果

- まち全体の印象については、「ふつう（どちらともいえない）」の割合が29%と最も大きく、次いで「どちらかといえば住みよい」が27%、「どちらかといえば住みにくい」が22%と続く。
- 川島町が定めた指標「住みよさ町民満足度」※は、63.6%となる。
(2025年：61.7%)

問2 まち全体の印象についておたずねします。あなたにとって川島町は住みよい町ですか。(1つにチェック)



	2026年		2025年	
	n	%	n	%
全体	519		442	
1 住みよい	75	14.5	53	12.0
2 どちらかといえば住みよい	138	26.6	111	25.1
3 ふつう（どちらともいえない）	151	29.1	128	29.0
4 どちらかといえば住みにくい	115	22.2	120	27.1
5 住みにくい	40	7.6	30	6.8
6 その他		0.0		0.0

※「住みよさ町民満足度」算出式

住みよい=5, どちらかといえば住みよい=4, ふつう（どちらともいえない）=3,
どちらかといえば住みにくい=2, 住みにくい=1

1 住みよい	75 x 5 =	375
2 どちらかといえば住みよい	138 x 4 =	552
3 ふつう（どちらともいえない）	151 x 3 =	453
4 どちらかといえば住みにくい	115 x 2 =	230
5 住みにくい	40 x 1 =	40
		1,650

$$1,650 \div 519 (\text{回答者数}) = 3.179$$

$$3.179 \div 5 \times 100 = 63.6\%$$

- 年齢別では、18・19歳、20歳代の若者層と、40歳代の満足度が全体（63.6%）より低い。

【年齢別】

	住みよい	どちらかといえ ば住みよい	ふつう (どちらともい えない)	どちらかといえ ば住みにくい	住みにくい	総計	満足度 (%)
全体	75	138	151	115	40	519	63.6%
	14.45%	26.59%	29.09%	22.16%	7.71%	100.00%	
1 18・19歳	0	1	4	3	3	11	45.5%
	0.00%	9.09%	36.37%	27.27%	27.27%	100.00%	
2 20歳代	11	16	12	16	10	65	60.6%
	16.92%	24.62%	18.46%	24.62%	15.38%	100.00%	
3 30歳代	20	23	28	13	9	93	66.9%
	21.51%	24.73%	30.10%	13.98%	9.68%	100.00%	
4 40歳代	22	34	43	37	10	146	62.9%
	15.07%	23.29%	29.45%	25.34%	6.85%	100.00%	
5 50歳以上	22	64	64	46	8	204	64.5%
	10.78%	31.37%	31.38%	22.55%	3.92%	100.00%	

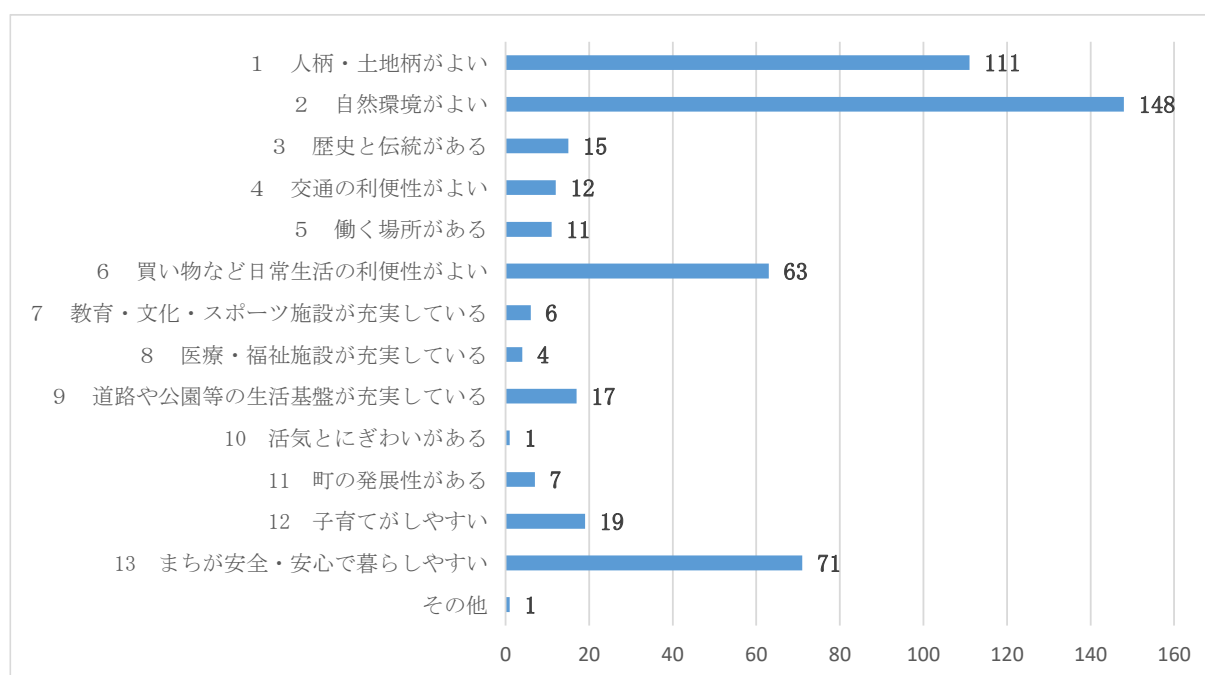
- 居住地区別では、出丸地区の満足度が56.5%と最も低くなっており、一方で中山地区が65.6%と高くなっている。

【居住地区別】

	住みよい	どちらかといえ ば住みよい	ふつう (どちらともい えない)	どちらかといえ ば住みにくい	住みにくい	総計	満足度 (%)
全体	75	138	151	115	40	519	63.6%
	14.45%	26.59%	29.09%	22.16%	7.71%	100.00%	
1 中山	21	43	37	32	7	140	65.6%
	15.00%	30.71%	26.43%	22.86%	5.00%	100.00%	
2 伊草	24	30	45	23	12	134	64.6%
	17.91%	22.39%	33.58%	17.16%	8.96%	100.00%	
3 三保谷	10	14	24	8	7	63	63.8%
	15.87%	22.22%	38.10%	12.70%	11.11%	100.00%	
4 出丸	4	13	11	16	7	51	56.5%
	7.84%	25.49%	21.57%	31.37%	13.73%	100.00%	
5 ハツ保	6	12	13	16	6	53	58.5%
	11.32%	22.64%	24.53%	30.19%	11.32%	100.00%	
6 小見野	5	16	16	13	1	51	64.3%
	9.80%	31.37%	31.37%	25.49%	1.96%	100.00%	
7 その他	5	10	5	7	0	27	69.6%
	18.52%	37.04%	18.52%	25.93%	0.00%	100.00%	

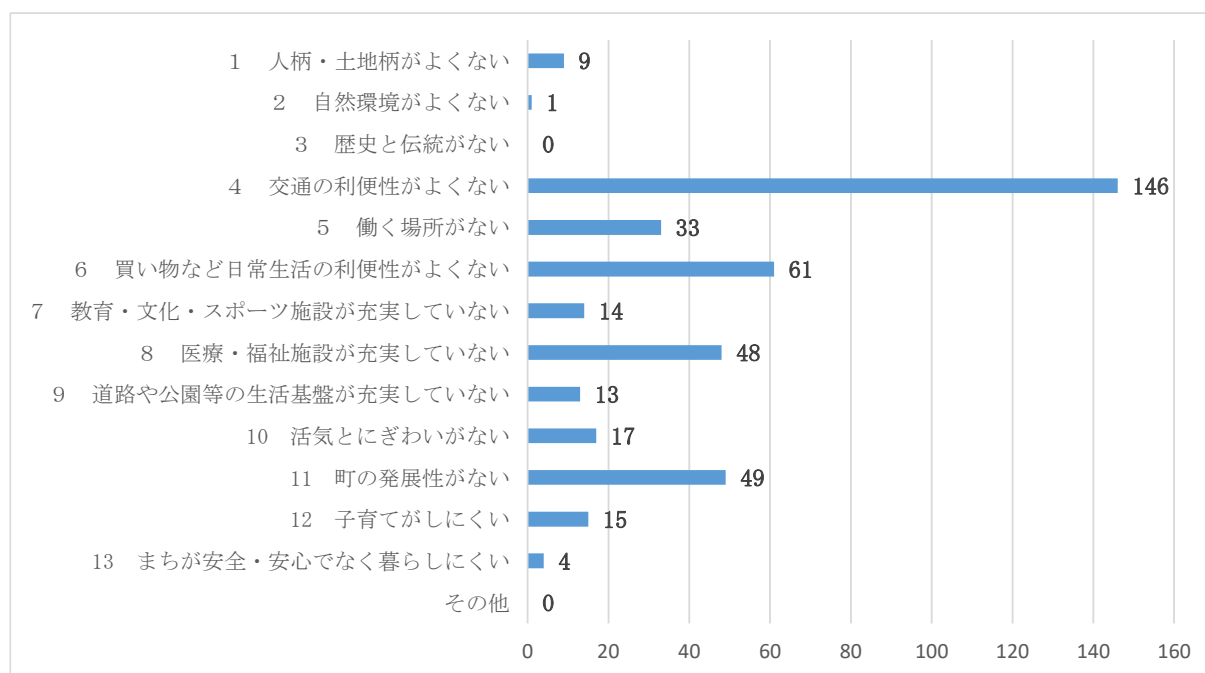
- 「住みよい」「どちらかといえば住みよい」理由としては、「自然環境がよい」と回答した件数が 148 件と最も多くなっている。次いで、「人柄・土地柄がよい」(111 件)、「まちが安全・安心で暮らしやすい」(71 件)、「買い物など日常生活の利便性がよい」(63 件)、と回答した。

[問 2－1 問 2 で 1 または 2 にチェックをした方のみお答えください。住みよい主な理由は何ですか。(3 つまでチェック)]



- 「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」理由としては、「交通の利便性がよくない」と回答した件数が146件と最も多くなっている。次いで、「買い物など日常生活の利便性がよくない」(61件)、「町の発展性がない」(49件)、「医療・福祉施設が充実していない」(48件)と回答した。

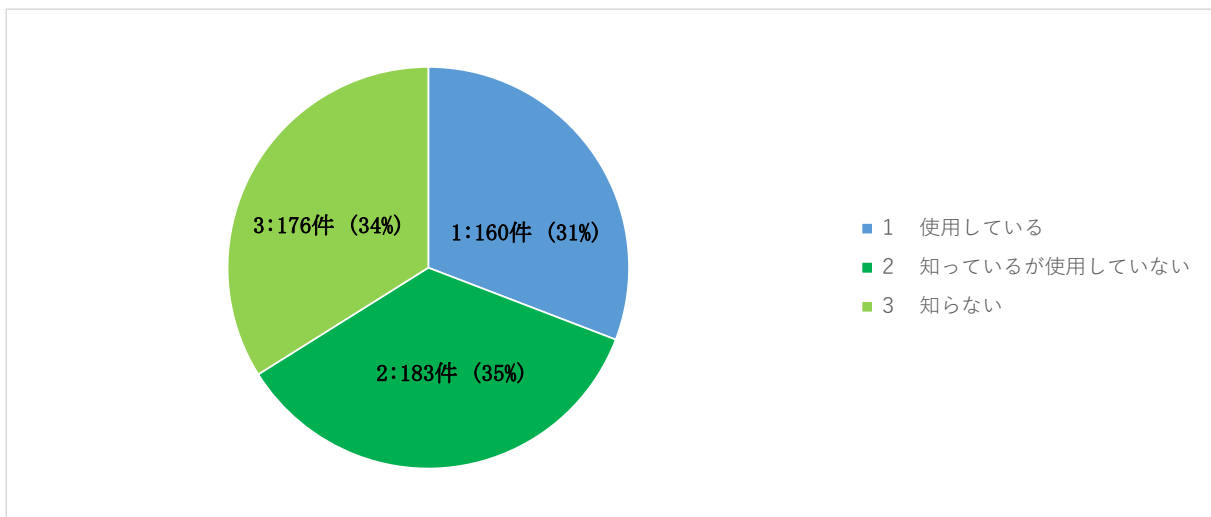
[問2-2 問2で4または5にチェックをつけた方のみお答えください。住みにくい主な理由は何ですか？(3つまでチェック)]



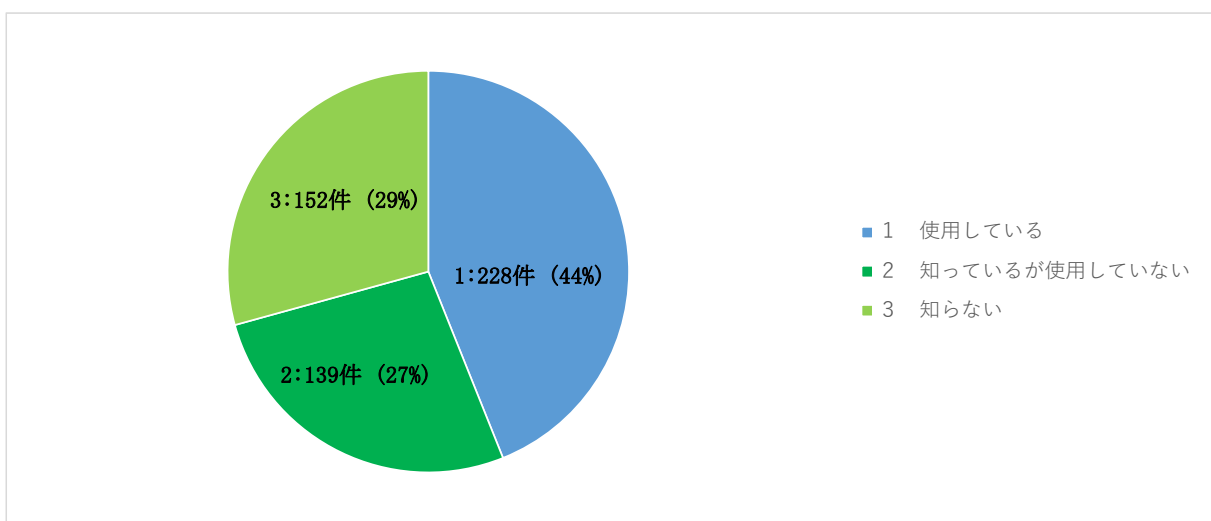
- 「かわべえメール」については、「使用している」の割合が31%、「知っているが使用していない」が35%、「知らない」が34%で、使用していない割合（69%）が大きい。
- 「LINE（ライン）@」については「使用している」の割合が44%と約4割が使用している。「知っているが使用していない」が27%、「知らない」が29%となっている。
- 「LINE（ライン）@」の方が、「かわべえメール」より使用している割合が大きい。
- 「戸別受信機」については、約3割が所有している。

問3 町から携帯電話等に防災情報・防犯情報・その他イベント情報等が発信される「かわべえメール」、「LINE（ライン）@」があることを知っていますか？また、町が希望者に貸与している防災情報等を送信する戸別受信機を所有していますか。（項目ごとに1つにチェック）

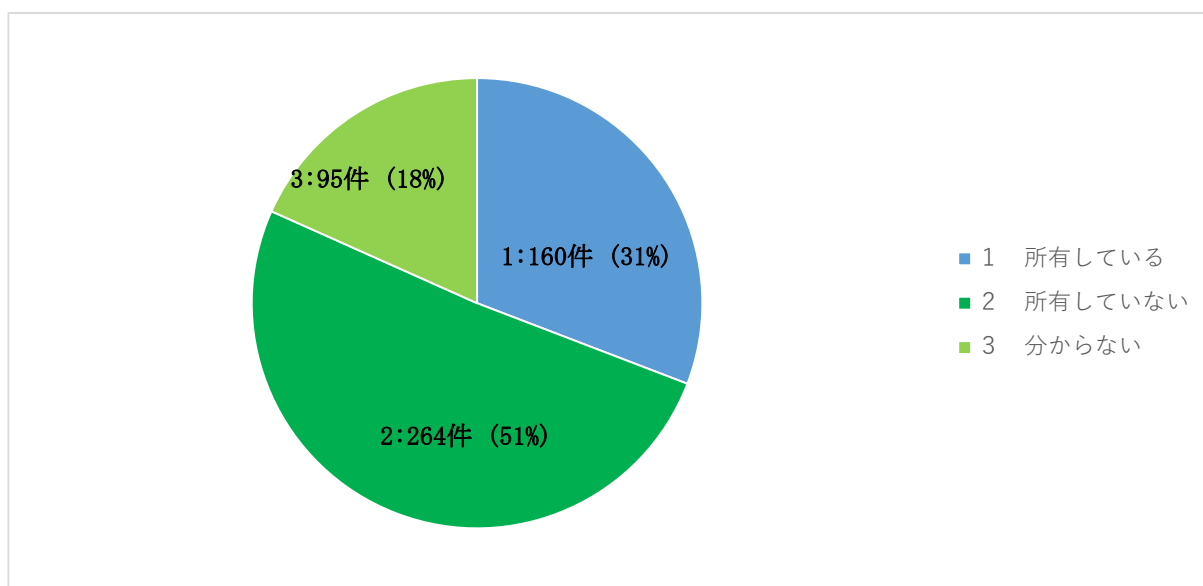
① 「かわべえメール」について（1つに○）



② 「LINE（ライン）@」について（1つに○）

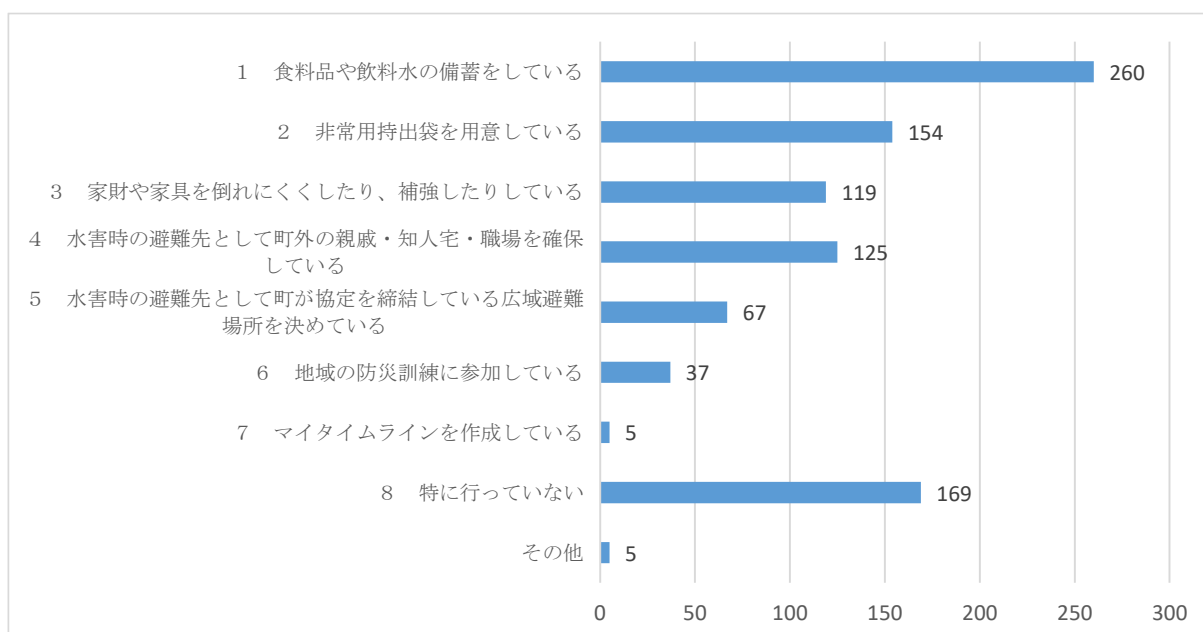


③「戸別受信機を所有していますか」について（1つに○）



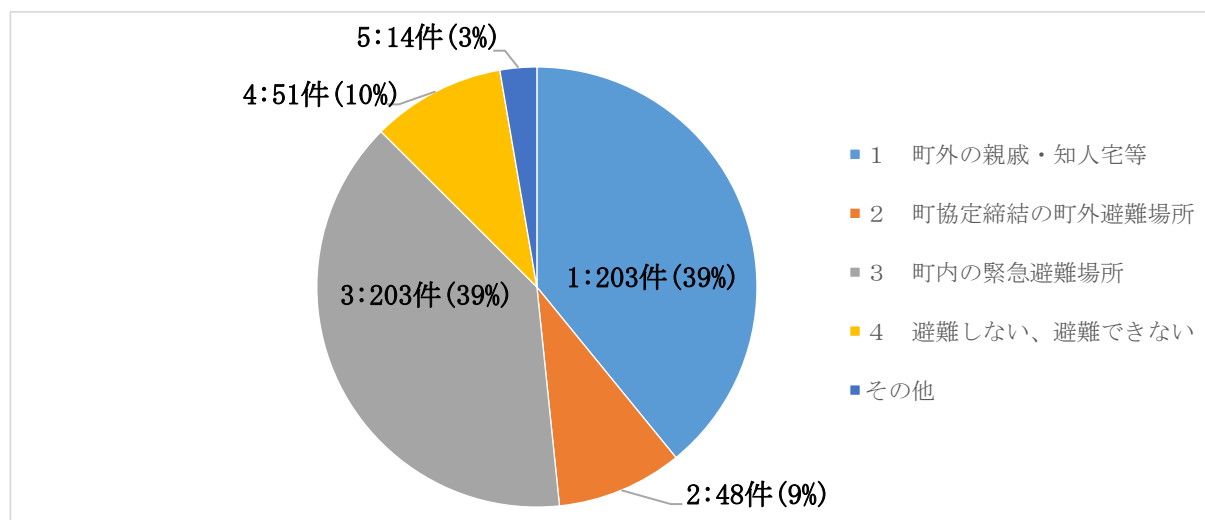
- 災害対策の項目では、普段行っている防災準備として、「食料品や飲料水の備蓄をしている」と回答した件数が260件と最も多い。
- 一方で、「地域の防災訓練に参加している」と回答した件数が37件、「マイタイムラインを作成している」と回答した件数は5件と他項目に比べとても少ない。

問4 あなたは日ごろから災害に備え、どのような準備を行っていますか。（あてはまるもの全てにチェック）



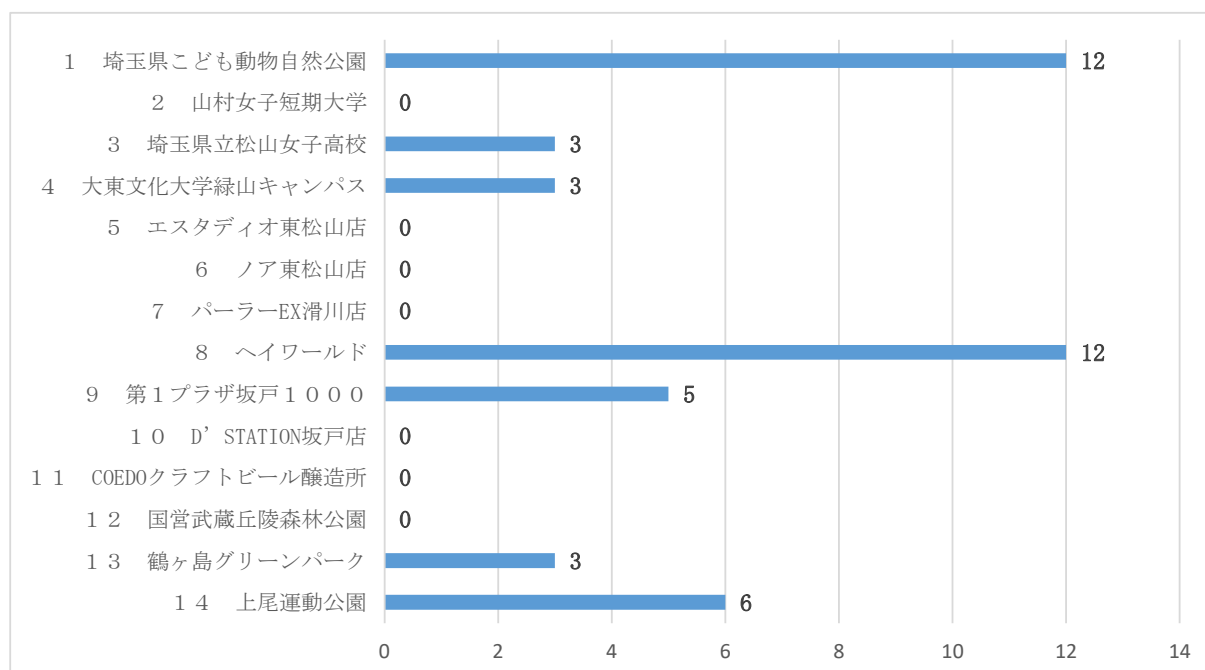
- 避難場所では、「町外の親戚・知人宅等」、「町内の緊急避難場所」と回答した割合がそれぞれ 39%と大きくなっている。

問 5 あなたは水害時にどこへ避難しますか。(1つにチェック)



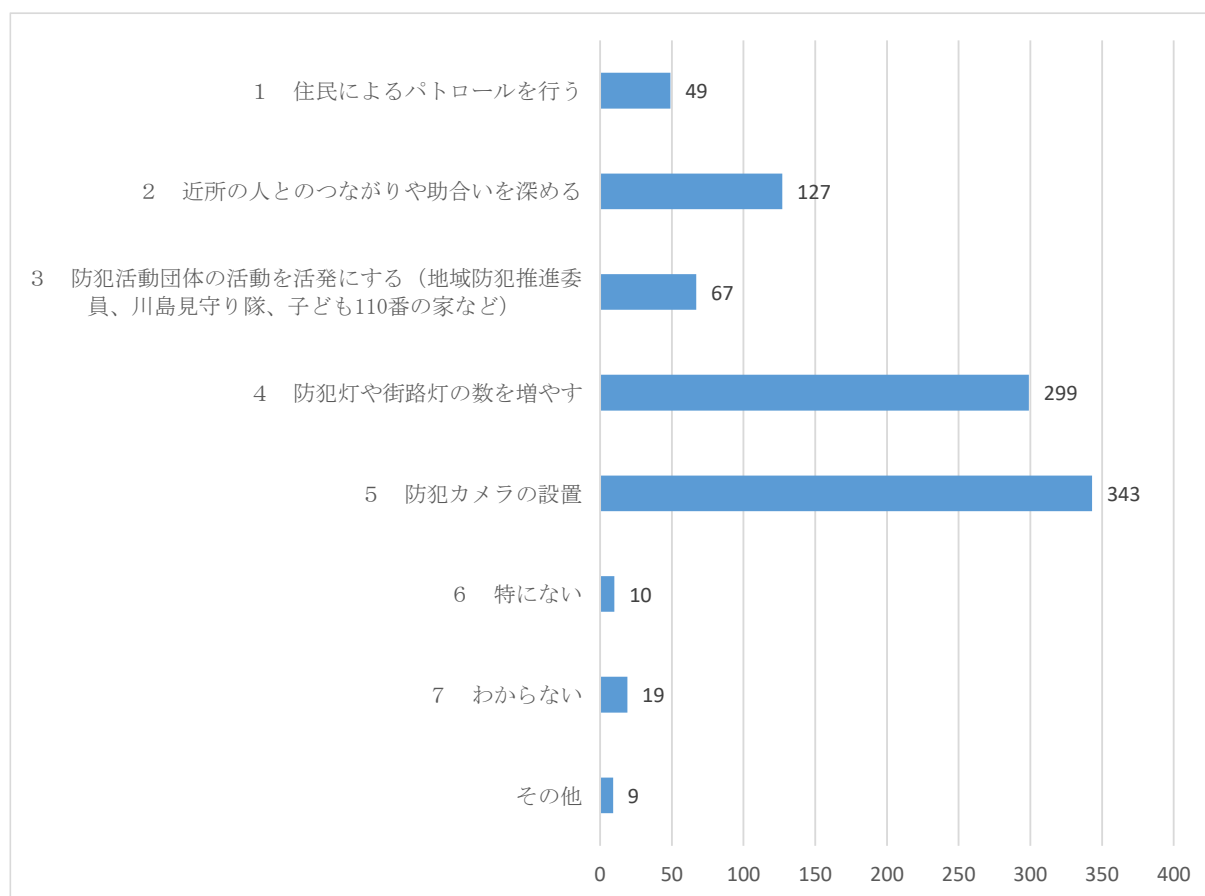
- 町外避難場所は、「埼玉県こども動物自然公園」、「ヘイワールド」と回答した件数が、それぞれ 12 件と最も多く、次いで、「上尾運動公園」が 6 件と続いている。
- 「山村女子短期大学」、「エスタディオ東松山店」、「ノア東松山店」、「パーラーEX 滑川店」、「D' STATION 坂戸店」、「COEDO クラフトビール醸造所」、「国営武蔵丘陵森林公園」の回答は、0 件にとどまっている。

問 5-1 問 5 で「2 町協定締結の町外避難場所」に○をつけた方のみお答えください。いずれの避難場所に避難予定ですか。(1つにチェック)



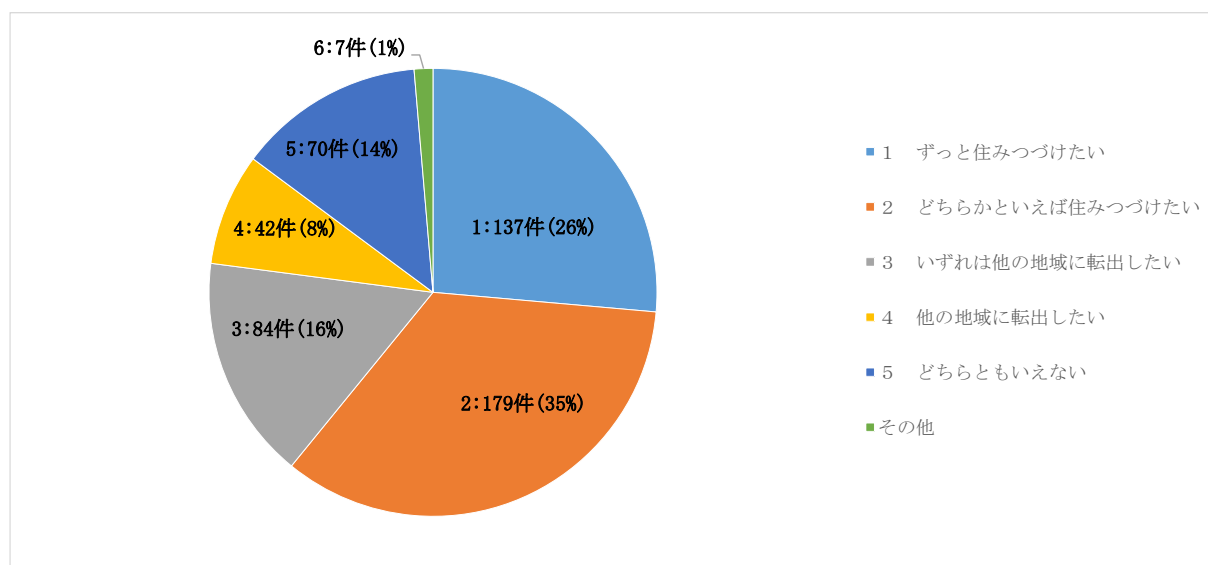
- 犯罪防止の項目では、地域や行政が取り組むべき事項として、「防犯カメラの設置」と回答した件数が 343 件と最も多く、続いて「防犯灯や街路灯の数を増やす」が 299 件となっており、この 2 件で 70%を占める。

問 6 あなたは、犯罪を防止するために、地域や行政がどのような取組みをしたらよいと思いますか。（2 つまでチェック）



- 川島町に「ずっと住みつづけたい」「どちらかといえば住みつづけたい」と回答した割合は、計 60.9%となっており、2025 年に実施したアンケート結果（58.2%）より 2.7 ポイント上昇している。

問 7 あなたは、川島町にこれからも住みつづけたいと思いますか。（1 つにチェック）



	2026年		2025年	
	n	%	n	%
全体	519		442	
1 ずっと住みつづけたい	137	26.4	109	24.7
2 どちらかといえば住みつづけたい	179	34.5	148	33.5
3 いずれは他の地域に転出したい	84	16.2	76	17.2
4 他の地域に転出したい	42	8.1	34	7.7
5 どちらともいえない	70	13.5	64	14.5
6 その他	7	1.3	11	2.5

- 年齢別にみると、年齢が若い層ほど居住継続意識が低く、高齢になるほど高くなっている。特に18・19歳の割合は18.2%と平均（60.9%）の約1/3の数値である。

【年齢別】

	ずっと住みつづ けたい	どちらかといえ ば住みつづけた い	いずれは他の地 域に転出したい	他の地域に転出 したい	どちらともいえ ない	その他	総計	住み続けたいと 思う町民の割合 (%)
全体	137	179	84	42	70	7	519	60.9%
	26.40%	34.49%	16.18%	8.09%	13.49%	1.35%	100.00%	
1 18・19歳	1	1	3	5	1	0	11	18.2%
	9.09%	9.09%	27.27%	45.46%	9.09%	0.00%	100.00%	
2 20歳代	5	15	25	8	11	1	65	30.8%
	7.69%	23.08%	38.46%	12.31%	16.92%	1.54%	100.00%	
3 30歳代	19	39	14	7	13	1	93	62.4%
	20.43%	41.94%	15.05%	7.53%	13.98%	1.08%	100.01%	
4 40歳代	30	58	24	8	25	1	146	60.3%
	20.55%	39.73%	16.44%	5.48%	17.12%	0.68%	100.00%	
5 50歳以上	82	66	18	14	20	4	204	72.5%
	40.21%	32.35%	8.82%	6.86%	9.80%	1.96%	100.00%	

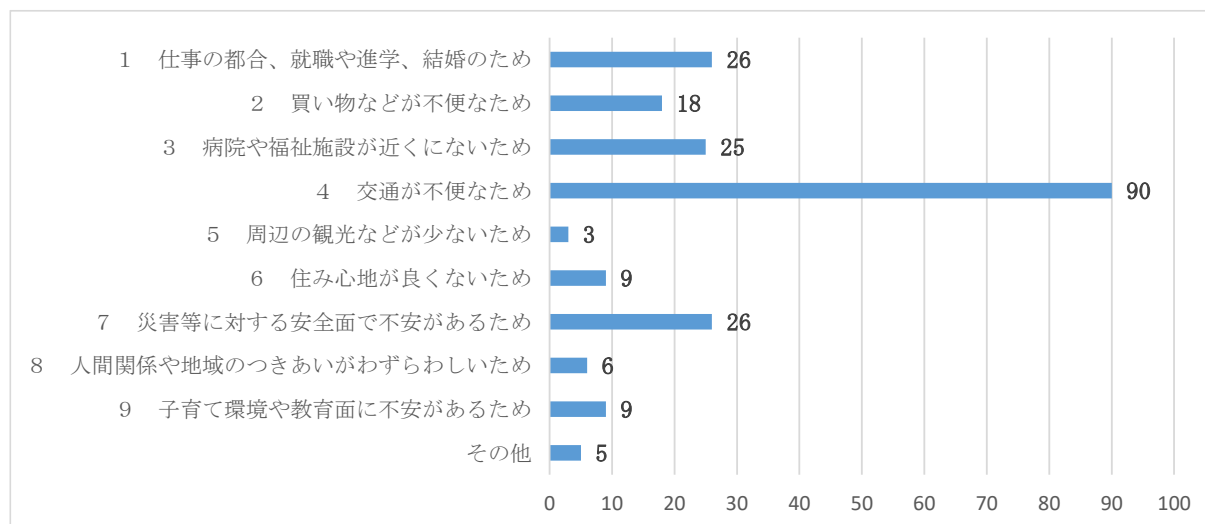
- 居住地区別にみると、伊草地区の居住継続意識が低くなっている。

【居住地区別】

	ずっと住みつづ けたい	どちらかといえ ば住みつづけた い	いずれは他の地 域に転出したい	他の地域に転出 したい	どちらともいえ ない	その他	総計	住み続けたいと 思う町民の割合 (%)
全体	137	179	84	42	70	7	519	60.9%
	26.40%	34.49%	16.18%	8.09%	13.49%	1.35%	100.00%	
1 中山	47	43	19	11	15	5	140	64.3%
	33.57%	30.71%	13.57%	7.86%	10.71%	3.57%	99.99%	
2 伊草	24	51	27	10	20	2	134	56.0%
	17.91%	38.06%	20.15%	7.46%	14.93%	1.49%	100.00%	
3 三保谷	19	20	9	2	13	0	63	61.9%
	30.16%	31.75%	14.29%	3.17%	20.63%	0.00%	100.00%	
4 出丸	12	20	8	8	3	0	51	62.7%
	23.53%	39.22%	15.69%	15.69%	5.88%	0.00%	100.01%	
5 八ツ保	15	15	10	5	8	0	53	56.6%
	28.30%	28.30%	18.88%	9.43%	15.09%	0.00%	100.00%	
6 小見野	15	19	9	4	4	0	51	66.7%
	29.41%	37.26%	17.65%	7.84%	7.84%	0.00%	100.00%	
その他	5	11	2	2	7	0	27	
	18.52%	40.74%	7.41%	7.41%	25.93%	0.00%	100.01%	

- 他の地域への転出を検討している理由をみると、「交通が不便なため」と回答した件数が90件と最も多く、約41%を占めている。
- 一方で、「周辺の観光などが少ないため」は3件と少ない。

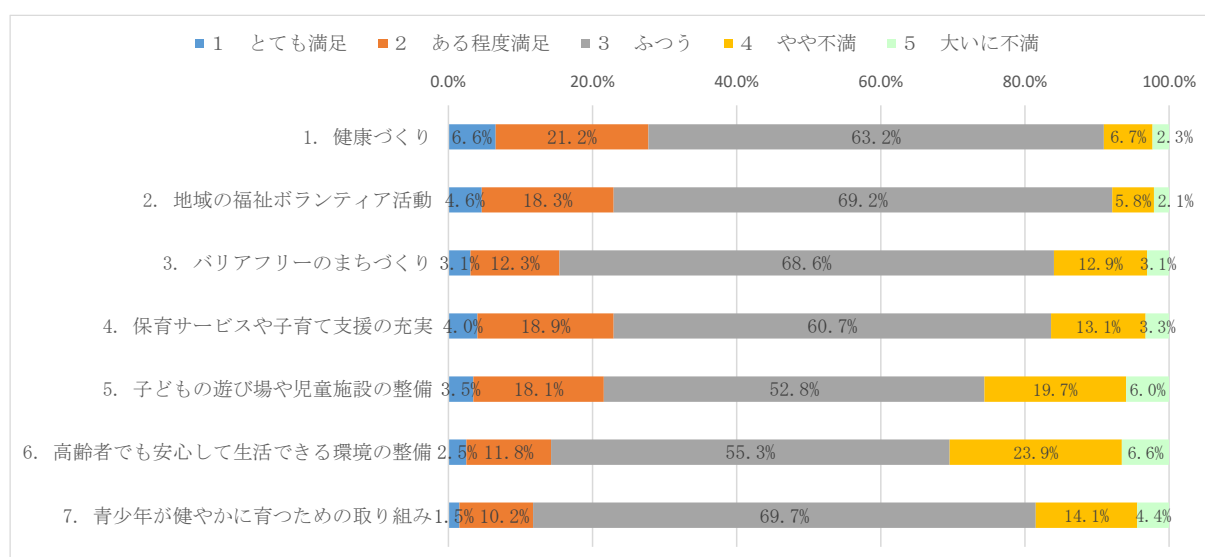
〔問7ー1 問7で3または4にチェックをつけた方のみお答えください。その主な理由は何ですか。（2つまでチェック）〕



【分野別取組み 保健・医療・福祉】

- 保健・医療・福祉に関する取組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「1. 健康づくり」（計27.8%）となっている。
- 「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が最も大きい項目は、「6. 高齢者でも安心して生活できる環境の整備」（計30.5%）となっている。

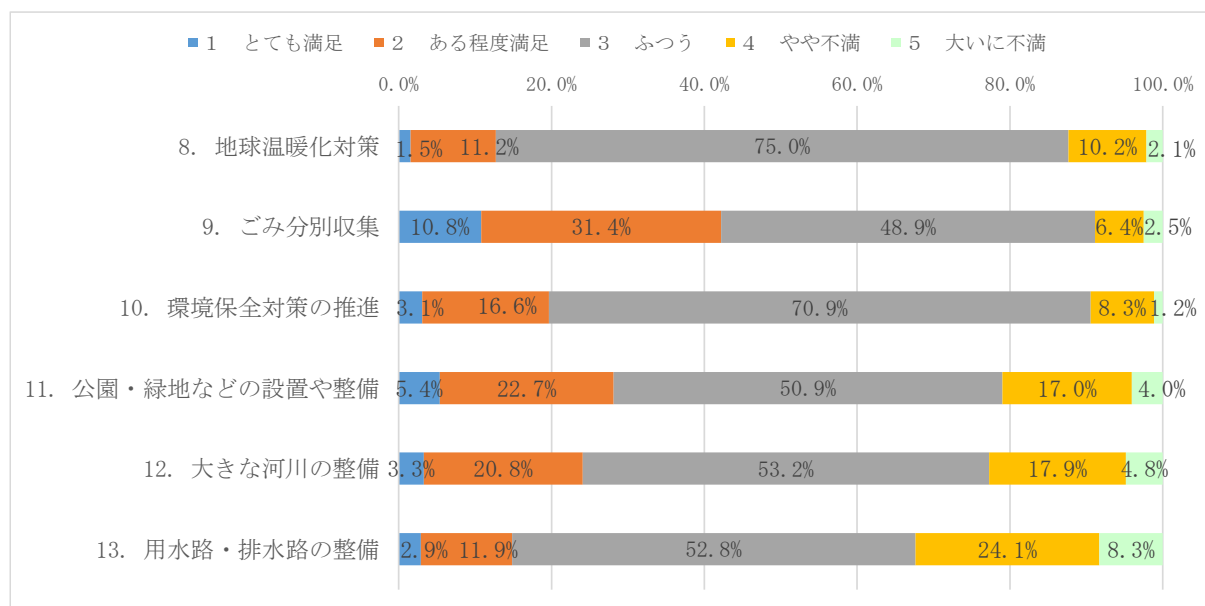
問8 川島町の各分野の取組みについてどのように感じていますか。（項目ごとに1つにチェック）



【分野別取組み 自然環境・生活環境】

- 自然環境・生活環境に関する取組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「9. ごみ分別収集」（計 42.2%）となっている。
- 「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が最も大きい項目は、「13. 用水路・排水路の整備」（計 32.4%）となっている。

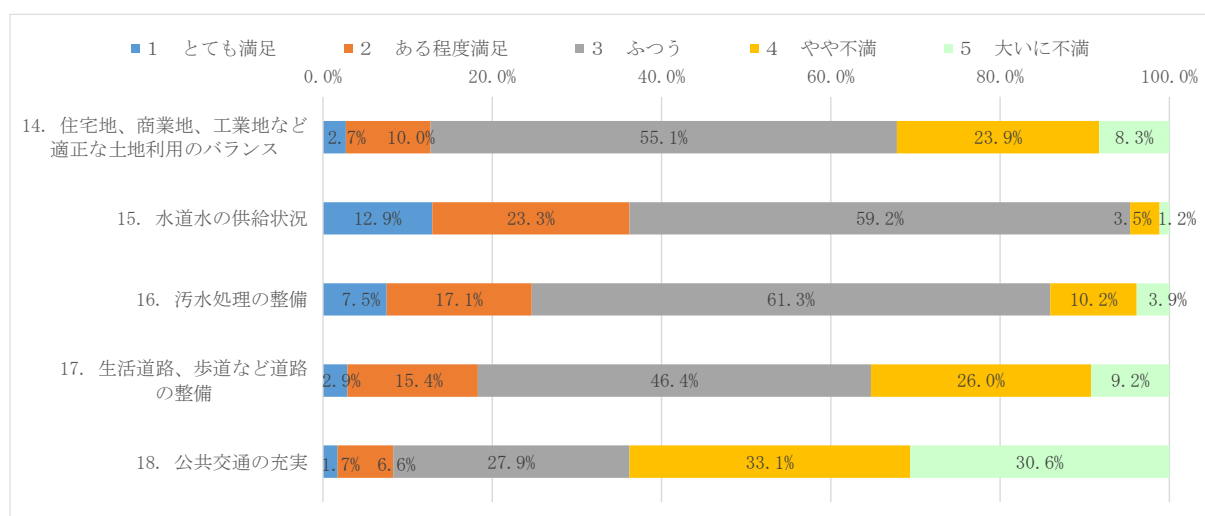
問8 川島町の各分野の取組みについてどのように感じていますか。（項目ごとに1つにチェック）



【分野別取組み 都市基盤・土地利用】

- 都市基盤・土地利用に関する取組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「15. 水道水の供給状況」（計 36.2%）となっている。
- 「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が最も大きい項目は、「18. 公共交通の充実」（計 63.7%）となっており、全 39 項目の中で最も大きい。

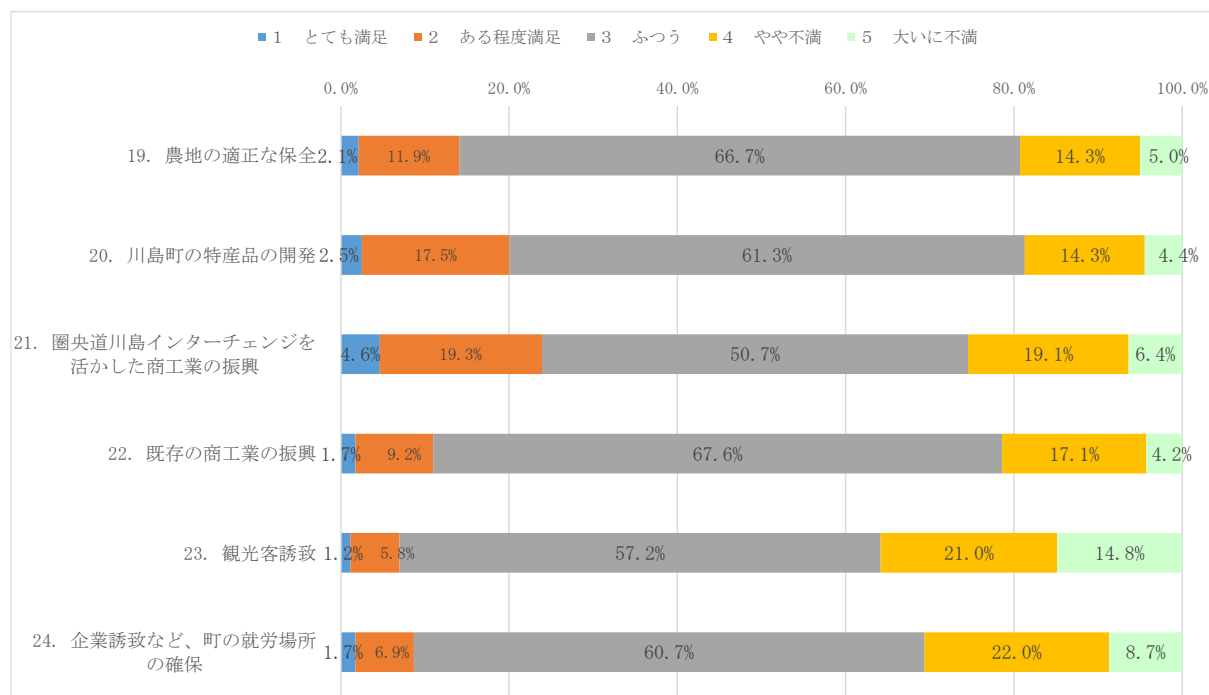
問 8 川島町の各分野の取組みについてどのように感じていますか。（項目ごとに 1 つにチェック）



【分野別取組み 農業・商業・工業・観光】

- 農業・商業・工業・観光に関する取組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「21. 圏央道川島インターチェンジを活かした商工業の振興」（計 23.9%）となっている。
- しかしながら、「川島町の特産品の開発」以外、満足していると回答した割合は、不満と回答した割合を下回っている。
- 「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が最も大きい項目は、「23. 観光客誘致」（計 35.8%）となっている。

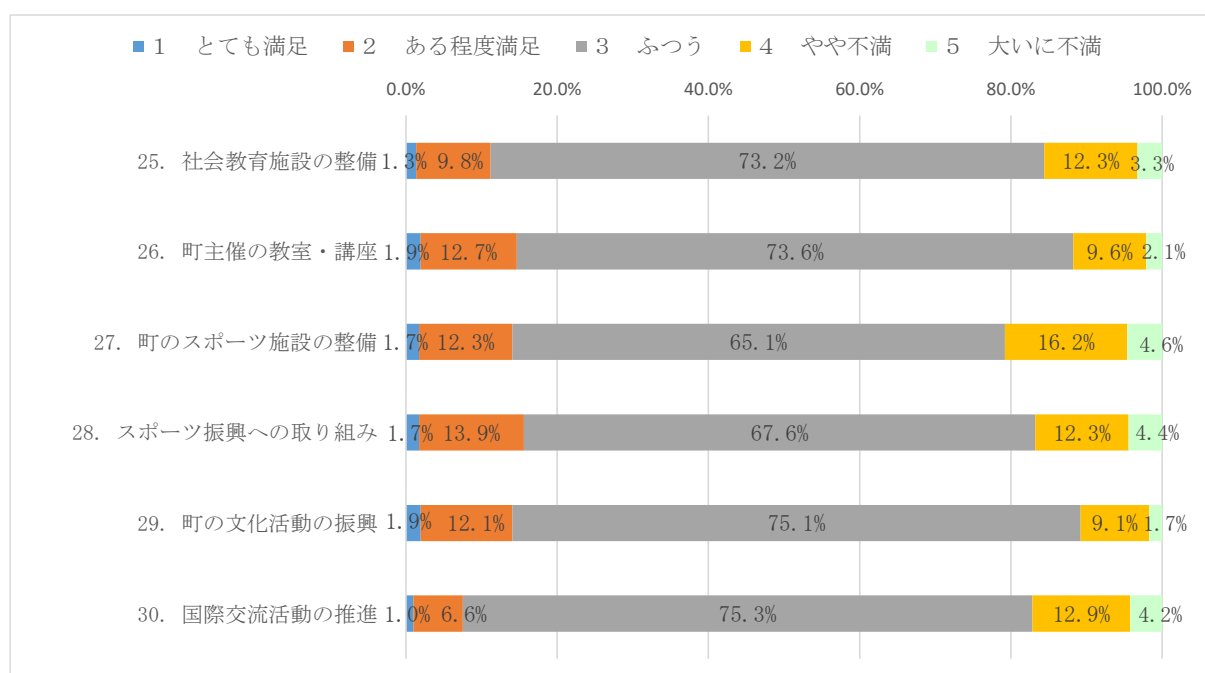
問8 川島町の各分野の取組みについてどのように感じていますか。（項目ごとに1つにチェック）



【分野別取組み 生涯学習・教育】

- 生涯学習・教育に関する取組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「28. スポーツ振興への取組み」（計 15.6%）となっている。
- 「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が最も大きい項目は、「27. 町のスポーツ施設の整備」（計 20.8%）となっている。

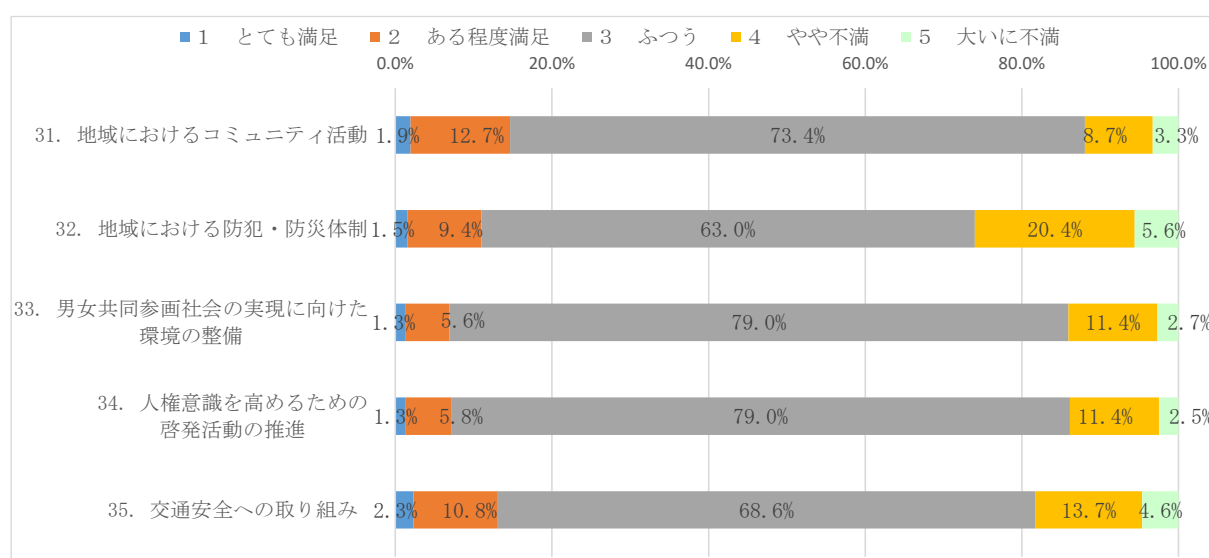
問8 川島町の各分野の取組みについてどのように感じていますか。（項目ごとに1つにチェック）



【分野別取組み 自治・コミュニティ】

- 自治・コミュニティに関する取組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「31. 地域におけるコミュニティ活動」（計 14.6%）となっている。
- 一方で、「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が大きい項目は、「32. 地域における防犯・防災体制」（計 26.0%）、「35. 交通安全への取組み」（計 18.3%）となっている。
- 「31. 地域におけるコミュニティ活動」以外、満足していると回答した割合は、不満と回答した割合を下回っている。

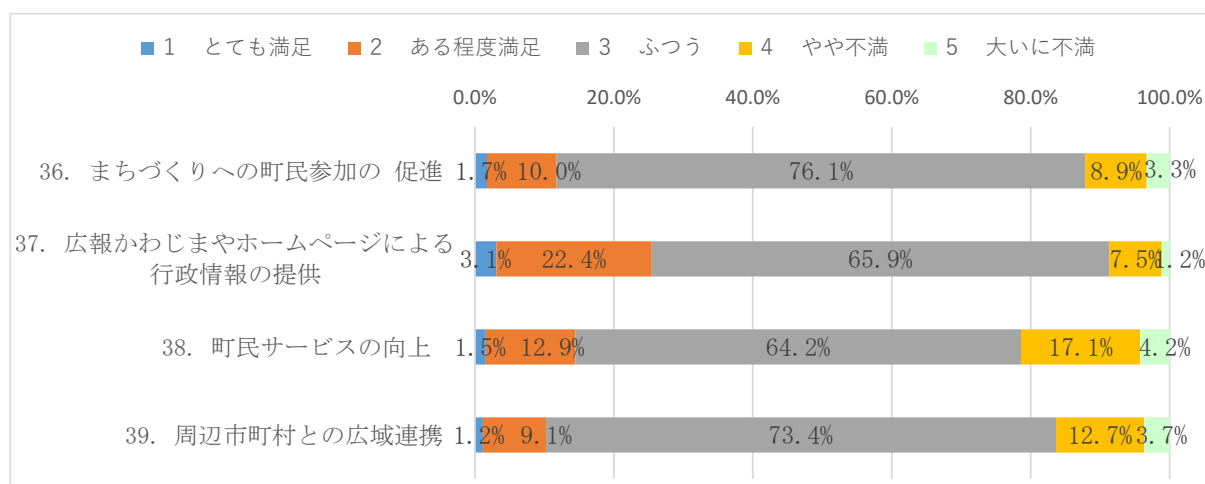
問8 川島町の各分野の取組みについてどのように感じていますか。（項目ごとに1つにチェック）



【分野別取組み 行財政運営】

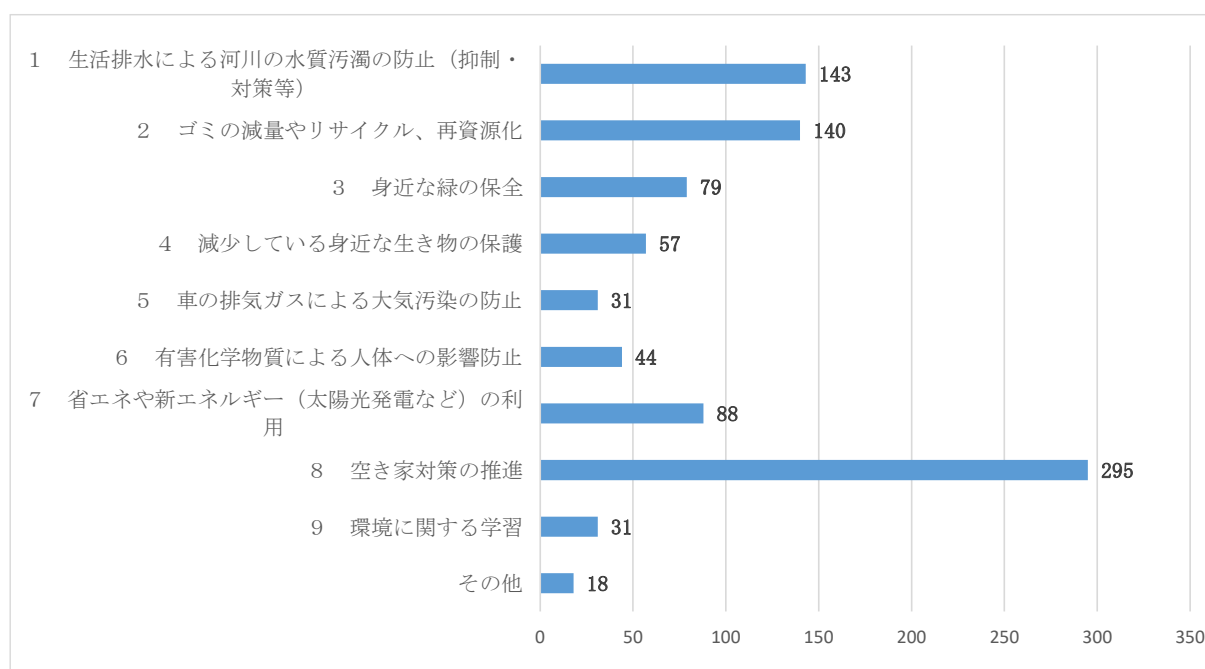
- 行財政運営に関する取組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「37. 広報かわじまやホームページによる行政情報の提供」（計 25.5%）となっている。
- 「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が最も大きい項目は、「38. 町民サービスの向上」（計 21.3%）となっている。

問8 川島町の各分野の取組みについてどのように感じていますか。（項目ごとに1つにチェック）



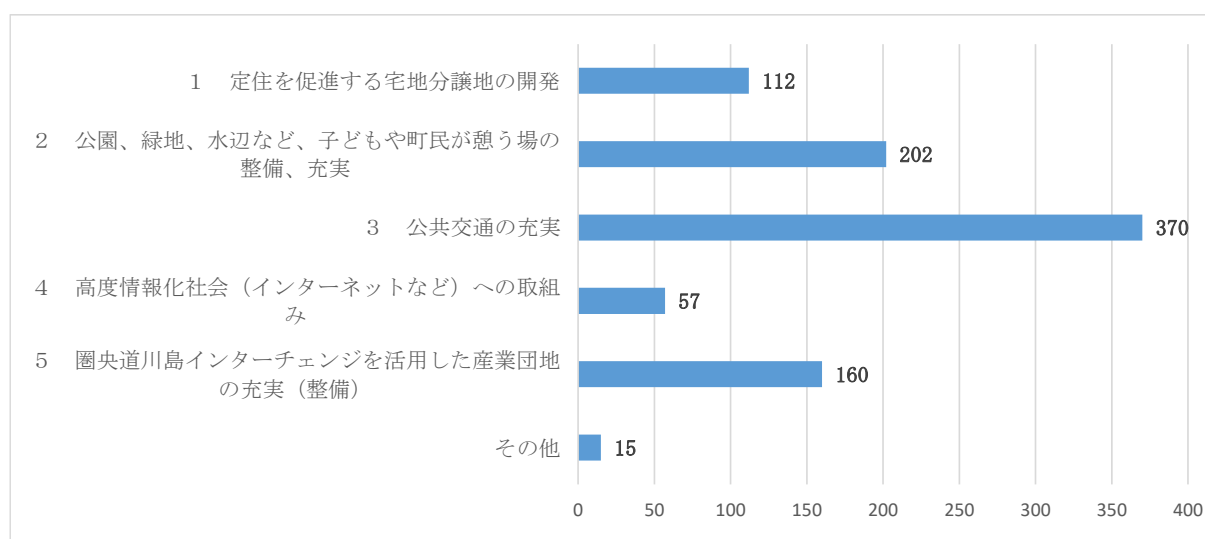
- 自然環境・生活環境において重点的に進めていくべき施策では、「空き家対策の推進」(295 件)、「生活排水による河川の水質汚濁の防止」(143 件)となっている。

問 9 自然環境・生活環境の取組みで、次のうち、重点的に進めていくべき施策は何だと思いますか（2つまでチェック）



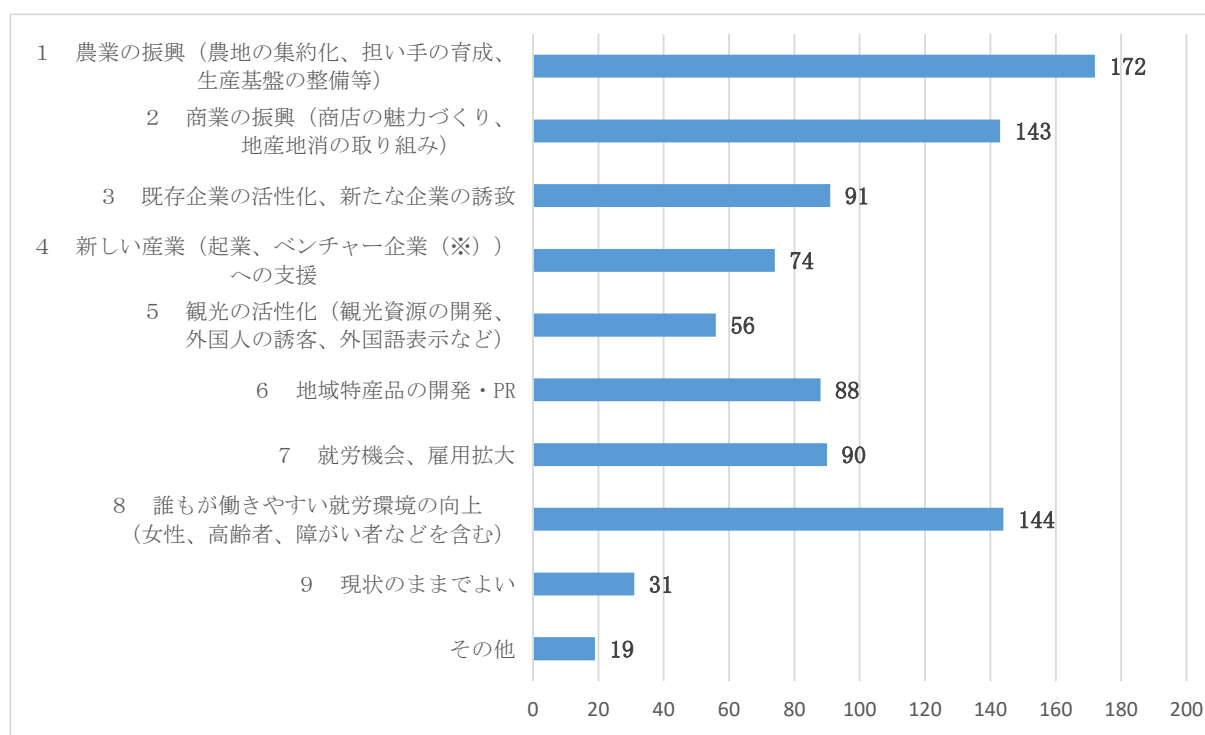
- 都市基盤において重点的に進めていくべき施策では、「公共交通の充実」と回答した件数が 370 件と多く、「公園、緑地、水辺など、子どもや町民が憩う場の整備、充実」が 202 件、「圏央道川島インターチェンジを活用した産業団地の充実（整備）」が 160 件と続いている。

問 10 都市基盤の取組みで、次のうち、重点的に進めていくべき施策は何だと思いますか（2 つまでチェック）



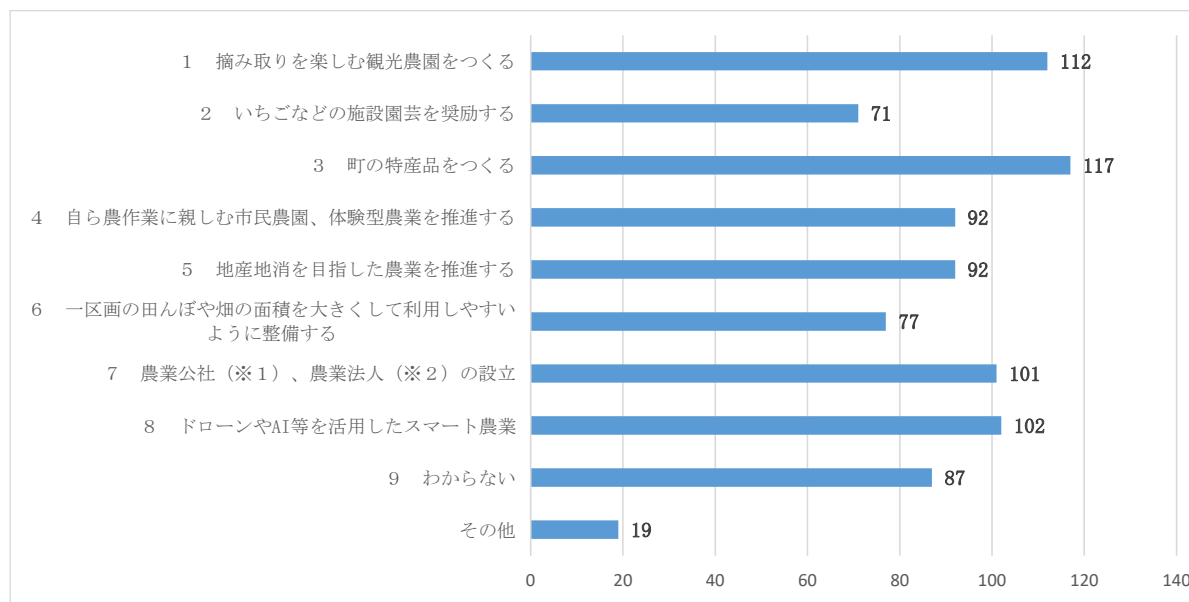
- 産業振興、雇用拡大において重点的に進めていくべき施策では、「農業の振興（農地の集約化、担い手の育成、生産基盤の整備等）」と回答した件数が172件と最も多く、「誰もが働きやすい就労環境の向上（女性、高齢者、障がい者などを含む）」が144件、「商業の振興（商店の魅力づくり、地産地消の取組み）」が143件と続いている。

問11 産業振興、雇用創出の取組みで、次のうち、重点的に進めていくべき施策は何だと思いますか（2つまでチェック）



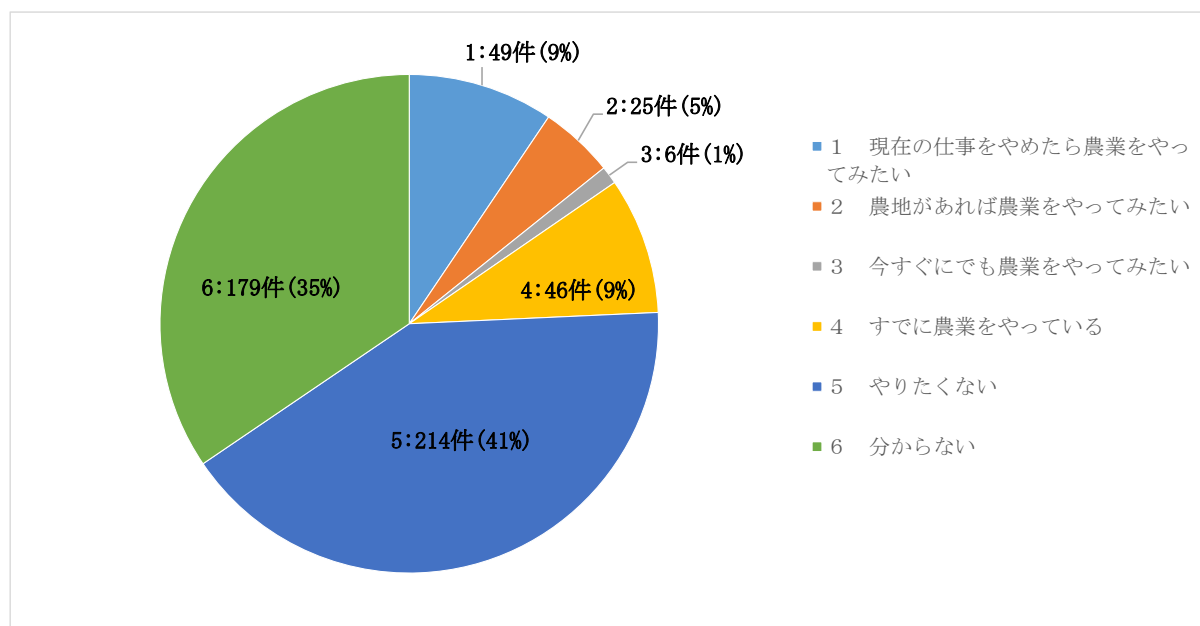
- 農業の振興に向けて進めていくべき施策では、「町の特産品をつくる」と回答した件数が117件と最も多く、次いで、「摘み取りを楽しむ観光農園をつくる」が112件、「ドローンやAI等を活用したスマート農業」が102件と続いている。

問12 町の農業を振興するために、どのような農業経営を進めるべきだと思いますか（2つまでチェック）



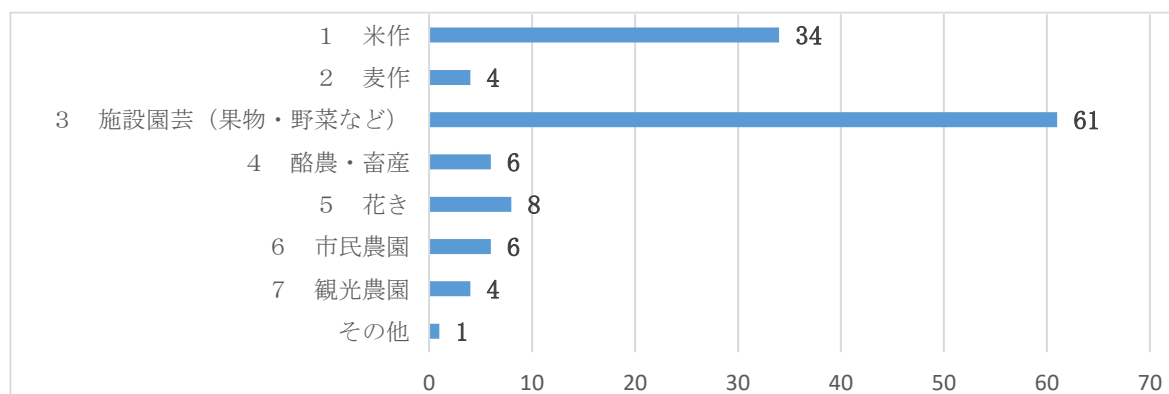
- 農業への就業希望では、「やりたくない、わからない」と回答した割合が、約76%と最も大きい。
- 一方で、「現在の仕事をやめたら農業をやってみたい」が9%、「農地があれば農業をやってみたい」が5%と就農意向者が約14%存在する。（「すでに農業をやっている」は9%）

問13 あなたは、新たに農業に就いてみたいという考えはありますか。（1つにチェック）



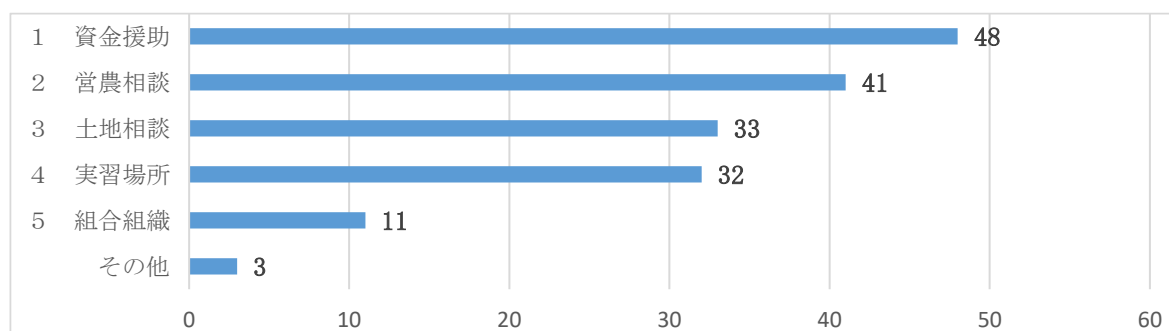
- やってみたい農業では、「施設園芸」と回答した件数が 61 件と最も多く、次いで、「米作」が 34 件と続いている。

[問 1 3－1 ①問 1 3 で 1～3 にチェックをつけた方のみお答えください。やってみたい農業は何ですか。(2 つまでチェック)]



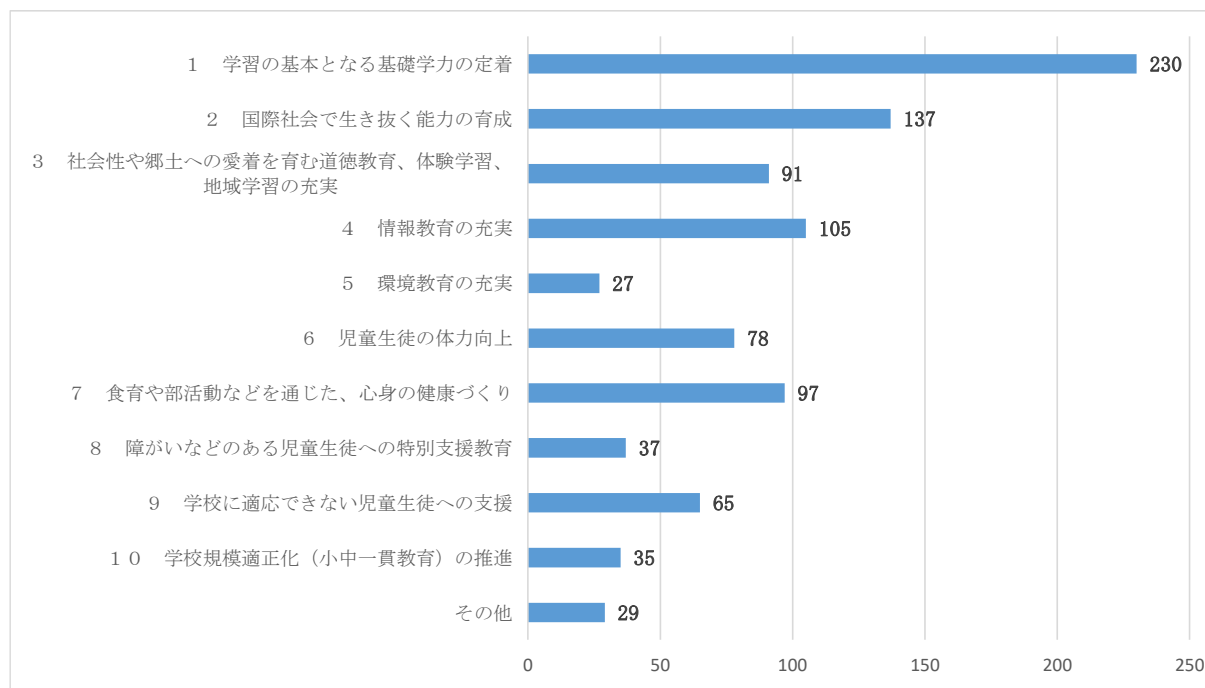
- 農業を開始するにあたって支援を要する事項としては、「資金援助」と回答した件数が 48 件と最も多く、次いで「営農相談」が 41 件、「土地相談」が 33 件、「実習場所」が 32 件と続いている。
- 施設園芸に必要な資金・土地の確保と経営指導が必要であるとの回答が多い。

[問 1 3－1 ②問 1 3 で 1～3 にチェックをつけた方のみお答えください。やってみたい農業に必要なことは何ですか。(2 つまでチェック)]



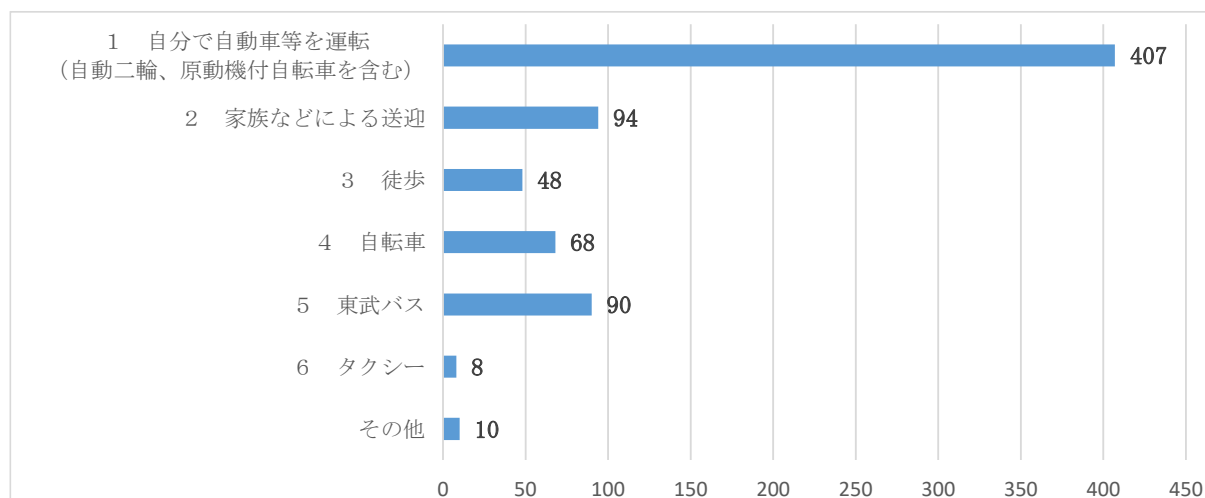
- 学校教育において重点的に進めていくべき施策では、「学習の基本となる基礎学力の定着」と回答した件数が230件と最も多く、「国際社会で生き抜く能力の育成」が137件と続いている。

問14 町の学校教育で、次のうち、重点的に進めていくべきものは何だと思いますか（2つまでチェック）



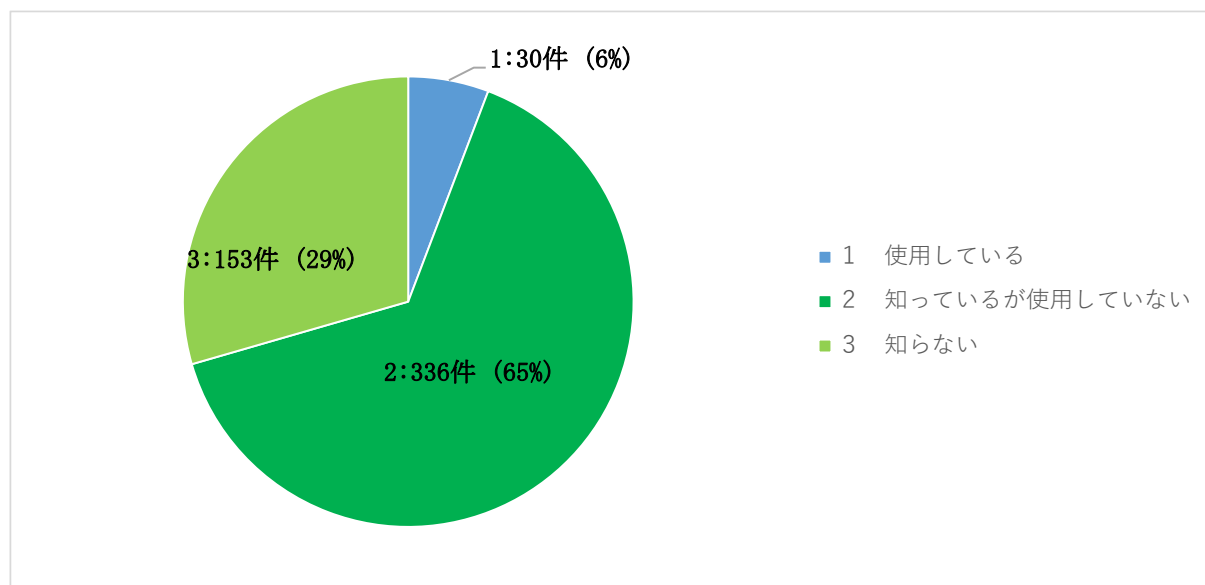
- 日常生活の移動手段では、「自分で自動車等を運転（自動二輪、原動機付自転車を含む）」と回答した件数が407件と圧倒的に多く、次いで、「家族などによる送迎」が94件、「東武バス」が90件と続いている。

問15 あなたは、日常どのような手段で外出（移動）しますか（2つまでチェック）



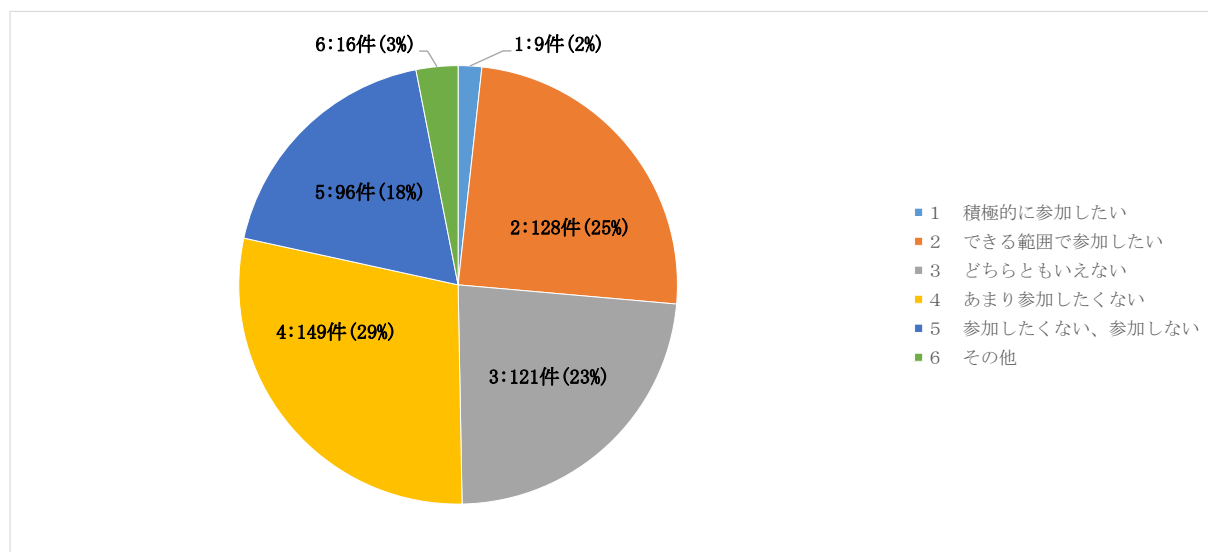
- かわみんタクシーの認知度では、「知っているが使用していない」と回答した割合が65%と大きくなっており、「知らない」が29%と続いている。

問16 町では、事前に登録することにより、自宅などから町内の行きたい場所や指定の病院に行くことができ、交通弱者の日中の移動を支援する交通サービスである、かわみんタクシーを平成29年1月より本格運行しています。あなたは、そのサービスを知っていますか。（1つにチェック）



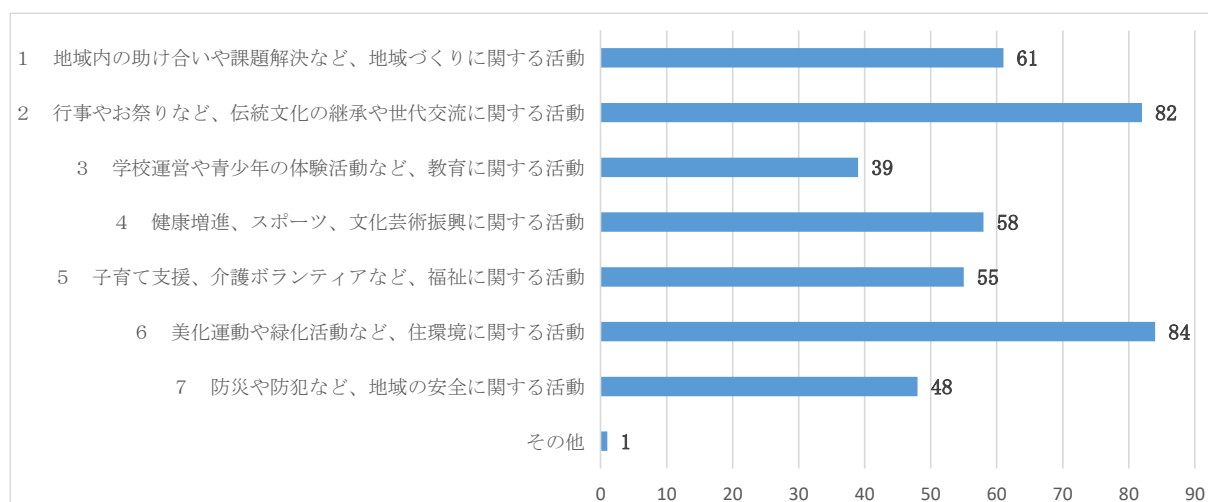
- ボランティア活動への参加意向では、「あまり参加したくない」と回答した件数が149件と最も多く、次いで、「できる範囲で参加したい」が128件、「どちらともいえない」が121件、「参加したくない、参加しない」が96件と続いている。
- 「積極的に参加したい」＋「できる範囲で参加したい」が計137件、「あまり参加したくない」＋「参加したくない、参加しない」が計245件と、参加しない件数が多くなっている。

問17 あなたは地域活動やボランティア活動などに参加したいですか。(1つにチェック)



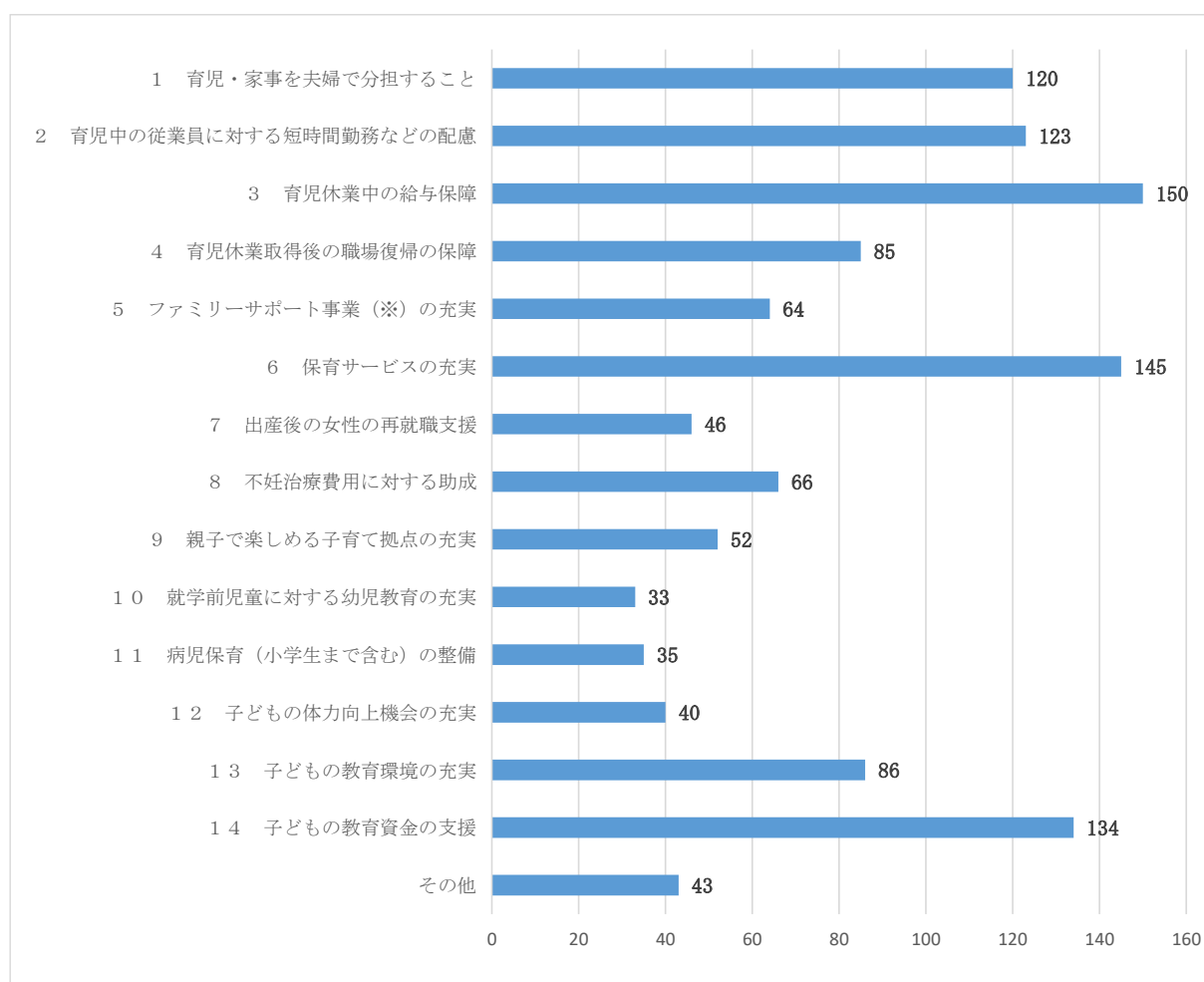
- ボランティアとして活動したい内容は、「美化運動や緑化活動など、住環境に関する活動」と回答した件数が84件と最も多く、「行事やお祭りなど、伝統文化の継承や世代交流に関する活動」が82件と続いている。

[問17-1 問17で1～3にチェックをつけた方のみお答えください。次のうちどのような活動をしたいですか。(2つまでチェック)]



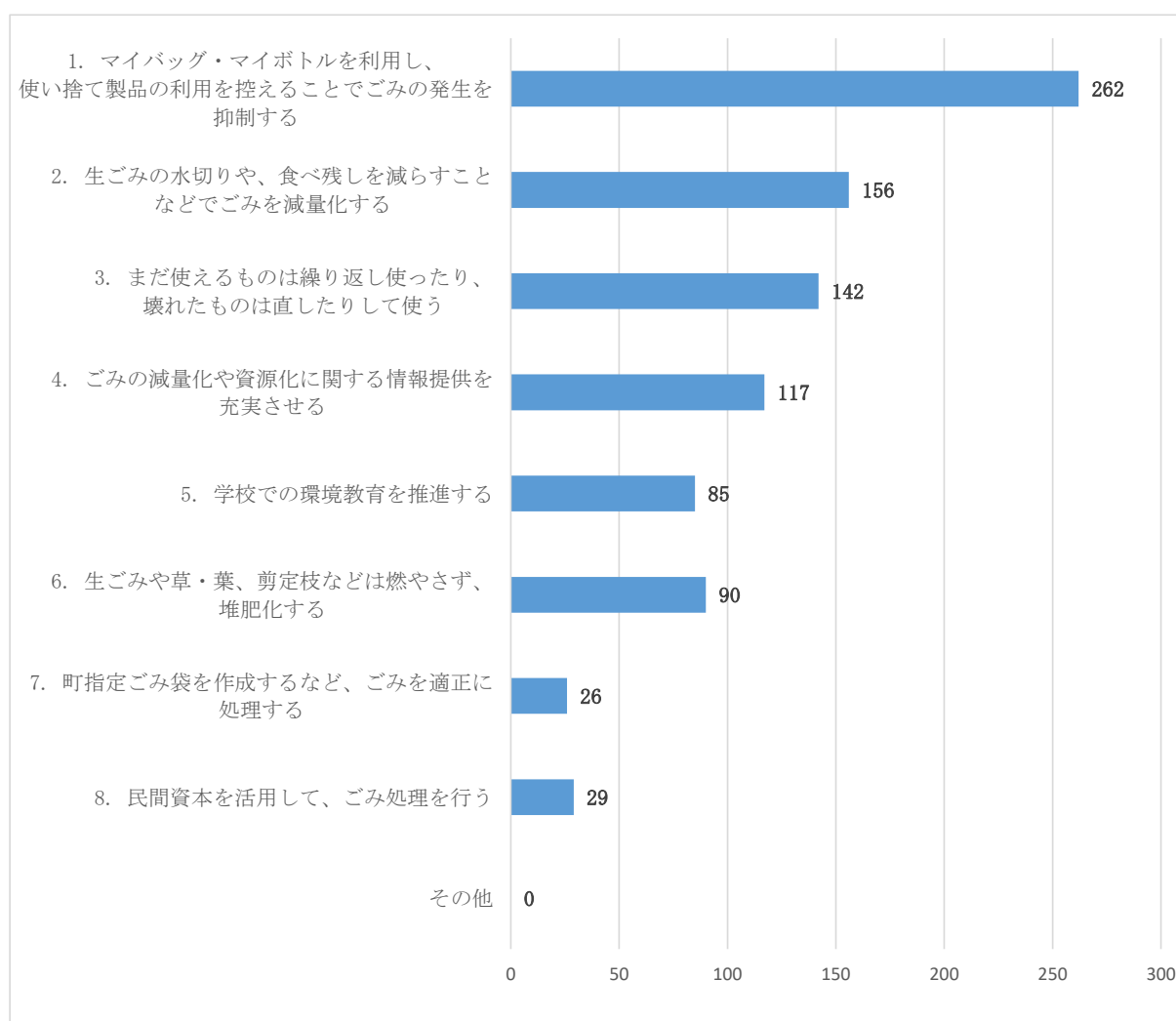
- 子育て支援・子育て環境の向上を進めるうえで効果的な施策では、「育児休業中の給与保障」と回答した件数が150件と最も多い。次いで、「保育サービスの充実」が145件、「子どもの教育資金の支援」が134件、「育児中の従業員に対する短時間勤務などの配慮」が123件、「育児・家事を夫婦で分担すること」が120件と続いている。

問18 子育て支援・子育て環境の向上を進める上で、次のうち、どのような対策が効果的だと思いますか。（3つまでチェック）



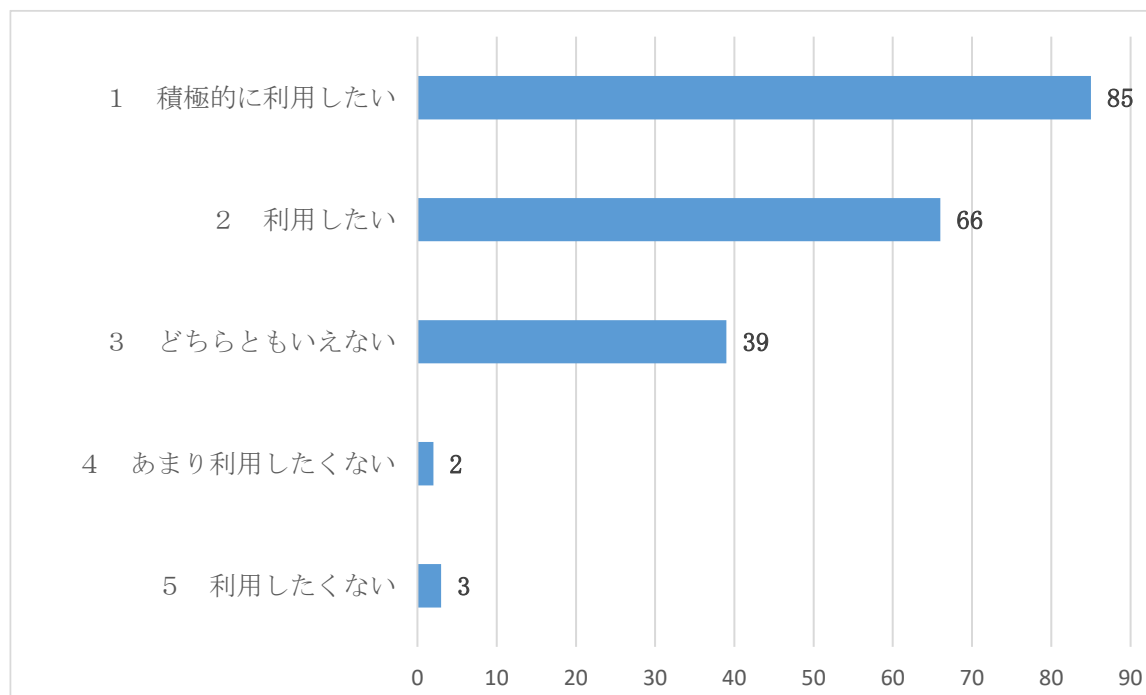
- ごみの減量化や資源化に向けて必要と思われる取組みでは、「マイバッグ・マイボトルを利用し、使い捨て製品の利用を控えることでごみの発生を抑制する」と回答した件数が、262 件と最も多い。
- 一方で、「町指定ごみ袋を作成するなど、ごみを適正に処理する」は 26 件と最も少ない。

問 19 ごみ処理施設の適正な運用のためには、更なるごみの減量化や資源化が必要です。あなたが必要だと思う取組みは何ですか。（2 つまでチェック）



- 各種申請・手続きについて電子申請の利用に関しては、「積極的に利用したい」が85件、「利用したい」が66件と回答した割合が77%となっている。

問20 インターネットで回答している場合、今後も各種申請・手続きについて電子申請を利用したいですか。（1つにチェック）



Ⅲ. まとめ

アンケートの設問８では、川島町の各分野の取組みに対する満足度を点数化している。
問８の小設問を総合計画で掲げている４つの柱「まもる」「つなぐ」「つくる」「そだてる」別にグルーピングし、それぞれ点数付けした結果を以下のとおり点数表にした。

【問８ 小設問別点数表】

テーマ	小設問	全体	5	4	3	2	1	点数
			とても満足	ある程度満足	ふつう	やや不満	大いに不満	
まもる	1 健康づくり	519	34	110	328	35	12	3.23
まもる	2 地域の福祉ボランティア活動	519	24	95	359	30	11	3.18
まもる	3 バリアフリーのまちづくり	519	16	64	356	67	16	2.99
そだてる	4 保育サービスや子育て支援の充実	519	21	98	315	68	17	3.07
そだてる	5 子どもの遊び場や児童施設の整備	519	18	94	274	102	31	2.93
まもる	6 高齢者でも安心して生活できる環境の整備	519	13	61	287	124	34	2.80
つなぐ	7 青少年が健やかに育つための取り組み	519	8	53	362	73	23	2.90
まもる	8 地球温暖化対策	519	8	58	389	53	11	3.00
まもる	9 ごみ分別収集	519	56	163	254	33	13	3.42
まもる	10 環境保全対策の推進	519	16	86	368	43	6	3.12
まもる	11 公園・緑地などの設置や整備	519	28	118	264	88	21	3.08
まもる	12 大きな河川の整備	519	17	108	276	93	25	3.00
まもる	13 用水路・排水路の整備	519	15	62	274	125	43	2.77
まもる	14 住宅地、商業地、工業地など適正な土地利用のバランス	519	14	52	286	124	43	2.75
まもる	15 水道水の供給状況	519	67	121	307	18	6	3.43
まもる	16 汚水処理の整備	519	39	89	318	53	20	3.14
まもる	17 生活道路、歩道など道路の整備	519	15	80	241	135	48	2.77
まもる	18 公共交通の充実	519	9	34	145	172	159	2.16
まもる	19 農地の適正な保全	519	11	62	346	74	26	2.92
つくる	20 川島町の特産品の開発	519	13	91	318	74	23	2.99
つくる	21 圏央道川島インターチェンジを活かした商工業の振興	519	24	100	263	99	33	2.97
つくる	22 既存の商工業の振興	519	9	48	351	89	22	2.87
つくる	23 観光客誘致の取り組み	519	6	30	297	109	77	2.57
つくる	24 企業誘致など、町の就労場所の確保	519	9	36	315	114	45	2.71
そだてる	25 社会教育施設の整備	519	7	51	380	64	17	2.94
そだてる	26 町主催の教室・講座	519	10	66	382	50	11	3.03
そだてる	27 町のスポーツ施設の整備	519	9	64	338	84	24	2.90
そだてる	28 スポーツ振興への取り組み	519	9	72	351	64	23	2.96
つなぐ	29 町の文化活動の振興	519	10	63	390	47	9	3.03
つなぐ	30 国際交流活動の推進	519	5	34	391	67	22	2.87
つなぐ	31 地域におけるコミュニティ活動	519	10	66	381	45	17	3.01
まもる	32 地域における防犯・防災体制	519	8	49	327	106	29	2.81
まもる	33 男女共同参画社会の実現に向けた環境の整備	519	7	29	410	59	14	2.92
まもる	34 人権意識を高めるための啓発活動の推進	519	7	30	410	59	13	2.92
まもる	35 交通安全への取り組み	519	12	56	356	71	24	2.92
つなぐ	36 まちづくりへの町民参加の促進	519	9	52	395	46	17	2.98
つなぐ	37 広報かわじまやホームページによる行政情報の提供	519	16	116	342	39	6	3.19
まもる	38 町民サービスの向上	519	8	67	333	89	22	2.90
つなぐ	39 周辺市町村との広域連携	519	6	47	381	66	19	2.91

※「とても満足」を５点、「ある程度満足」を４点、「ふつう」を３点、「やや不満」を２点、「大いに不満」を１点として換算し、各回答数と乗算した値を全回答数の５１９で割った値

※最高点を黄色塗り、最低点を緑色塗りで表示している。

【問 8 満足度テーマ別平均点】

2026年		2025年	
まもる	2.96	まもる	2.93
つなぐ	2.99	つなぐ	2.85
つくる	2.82	つくる	2.70
そだてる	2.97	そだてる	2.92
全体	2.95	全体	2.90

1. 「まもる」：平均 2.96 点

(1) 重要施策 1：災害に備える環境整備

「大きな河川の整備」が 3.00 点とテーマ平均点（2.96 点）を上回る。「用水路・排水路の整備」は 2.77 点と、テーマ平均点（2.96%）を下回る。

(2) 重要施策 2：持続可能な循環型社会の実現

「ごみ分別収集」は、3.42 点と全項目で二番に高くなっている。

(3) 重要施策以外の項目

「水道水の供給状況」は、3.43 点と全項目で一番に高い。一方で、「公共交通の充実」が最下位の 2.16 点となっている。

2. 「つなぐ」：平均 2.99 点

(1) 重要施策 1：つどいの場の創出

「地域におけるコミュニティ活動」は、3.01 点とテーマ平均点（2.99 点）を上回っている。

(2) 重要施策 2：新しい自治体コミュニケーションの推進

「広報かわじまやホームページによる行政情報の提供」は、3.19 点と平均点を上回っている。

(3) 重要施策以外の項目

「国際交流活動の推進」は、2.87 点と平均点を下回っている、「青少年が健やかに育つための取り組み」は、2.90 点と平均点を下回っている。

3. 「つくる」：平均 2.82 点

(1) 重要施策 1：川島インターチェンジ周辺整備の推進

「圏央道川島インターチェンジを活用した商工業の振興」は、2.97 点とテーマ平均点（2.82 点）を上回っている。

(2) 重要施策 2：地域資源の総動員による稼ぐ力の向上

「川島町の特産品の開発」は、2.99 点で平均点を上回っており、「観光客誘致」は、2.57 点で平均点を下回っている。

(3) 重要施策以外の項目

「つくる」は、他と比して満足度が低い。「観光客誘致」が 2.57 点と低くなっており、平均点を押し下げている。

4. 「そだてる」：平均 2.97 点

(1) 重要施策 1：夢を育む新たな学校づくり

小中一貫教育校計画の推進に関する項目はないが、設問 1 4 における項目で、重点的に進めていくべき施策として、35 件しかなく低い状況となっている。

(2) 重要施策 2：社会を生き抜く人材の育成

「保育サービスや子育て支援の充実」は、3.07 点とテーマ平均点（2.97 点）を上回っている。

(3) 重要施策以外の項目

「町主催の教室・講座」以外の項目については、全て平均点を下回っている。